



PERSPIRATION



目次

I. 2018 年度シーズンを振り返って	1
II. 2018 年度活動報告	5
i) 大会後記	6
関東インカレ／千葉対校／関東甲信越／全日本インカレ／国公立 27 大学対校／ 関東女子駅伝／北関東 5 大学対校／三浜駅伝／荒川駅伝／ 国公立 27 大学対校駅伝／勝田全国マラソン	
ii) その他の主な競技会の結果	19
茨城県選手権／その他	
iii) その他の活動	20
協力審判員／宇都宮・千葉・群馬・高崎経済・埼玉・白鷗大学合同合宿	
III. 2019 年度シーズンの抱負	21
IV. 2019 年度活動予定	23
V. 引退される先輩より	24
VI. OB/OG 近況報告・現役部員へのメッセージ	34
VII. 記録集	40
茨城大学記録・男子／茨城大学記録・女子／2018 年度ランキング／対校戦順位一覧	
VIII. 部員名簿	45
編集後記・連絡先	46

1. 2018 年度シーズンを振り返って

主将反省

前主将 本田峻

本年度は諸事情により田村、小沼と続き今年の6月から引き継ぎ、約半年間主将を務めました。1年を通して見ると、円滑な運営ができていたかと言われると非常に難しかったです。しかし、4年生を始めとする多くのチームメイトに支えられ対校戦や北関東五大学の主催をやり遂げることができました。

さて本年度は関東インカレや国公立27大学対校戦、北関東五大学など大会ごとにチームの現状をみた目標を大会ごとに設定し、北関東五大学では男女アベック優勝を達成することができました。今年は特に月1回の全体ミーティングを通して目標の浸透とモチベーション向上に力を入れたと思っています。また「スペシャリスト」というスローガンのもと個人としてチームとしての競技力向上を目ざせる環境づくりにも取り組んでいきました。特にマネージャーブロック長片見が提案した自己ベスト表は、チームの雰囲気盛り上げた一つの要素だと感じています。

現在は2年次の山形に主将を引き継ぎました。私が半年ながら経験してきたことを無駄にせぬよう助言していければと思っています。私が主将としてできたことはほとんどありませんが、多くの方に支えられ最後まで取り組むことができました。

主務反省

前主務 山本麻友子

去年の北関東五大学対校戦で前主務の本吉から引き継ぎ、一年間主務として運営に携わってきました。自分が主務の役割を果たすことができるのか不安でしたが、スタッフ内の仕事を分担したり、主将のサポートをしたりするという主務の役割を果たすことができず、後悔しています。私の行動が変わっていれば、スタッフの動き方や雰囲気、それを中心としたチームの空気も変わったのではないかと思います。

主務としての仕事で大きかったのは、やはり11月3日の第69回北関東五大学対校戦の運営でした。実際に中心となり準備をしてみても、多くの時間と、たくさんの人の協力があって初めて1つの大会を開くことができるのだということを実感しました。改めて協力してくださった茨城陸協、先輩方に感謝するとともに、今後も茨城大学の名に恥じぬような行動をしていかななくてはならないと感じました。次は関甲信の主催が控えています。自分たちが学んだことを伝え、より良い大会運営を目指していきます。

主務としての1年を振り返ると、悩んだことや失敗したことも多く、後悔ばかりです。これからの1年は部に恩返しができるよう取り組んでいきます。

短距離ブロックの反省

前短距離ブロック長 堀邊美咲

今年度の短距離ブロックは、関東インカレ出場者を3人から8人に増やすこと、国公立27大学対校戦で全短距離種目入賞、男子リレーは4継40.80マイル3.15.00、女子リレーは4継・マイル日本インカレ出場を目標に掲げて活動してきた。しかし、いずれの目標も達成することができなかった。その理由として、チーム全体が一年を通して目標に向かった練習や取り組みができなかったからだと考える。また、常に怪我人がいてベストメンバーで走れた大会が少なく、個人の力がチームの結果に結びつかなかったことも挙げられる。その一方で個人での活躍が目立った一面もある。例えば、4年次の小林が400mHで関東インカレ標準切りを果たし、4年次の立林、川原が110mHで茨大記録を樹立した。このほかにも4年生の多くはPBを出し各対校戦で入賞していた。

このように活躍してきた4年生は、同じメニューの中でも自分の目標を達成するための工夫ができていた。4年生が引退した今、私たちは目標に向かったメニューをただこなすだけではなく、メニューの意図や本質を理解し自分のものにする工夫をしていこうと思う。

中長ブロックの反省

前中長ブロック長 中島康平

今年度中長ブロックは1年次を6人加え活動してきました。

シーズンを通しての反省としては、まず毎年のように反省として挙がっているエース頼りになってしまっている状況を変えることができなかったことです。女子は大きな大会でも何人かで得点をとってチームに貢献することはできていましたが、男子は一人が点をとってくるということが続いてしまっています。また、2年連続で出場していた箱根予選会に出場することができなかったのも反省としてあげられます。標準が変わってしまったこともありますが、もっと取り組み方を変えていかなければならないと感じました。昨年と違い男女一緒のブロックになったのですが、メニューを共有していいところをとり入れる、雰囲気盛り上げるなどがうまくできていませんでした。

良かった点としては、女子は関東女子駅伝に来年も出場できることを決められたこと、男子は県選出場者を増やせたことや、27大で決勝に残る・5大で得点数を増やせたなどエース頼りのところを少しずつではありますが改善できてきていることです。また新たな取り組みとしてスプレッドシートでブロック員の練習状況を把握することで練習の質を向上させることができたことです。11月から前川にブロック長を引き継ぎました。シーズン途中からではありましたが、経験したことや反省を生かしよりよい中長ブロックとなれるようにサポートしていきたいと思います。

跳躍ブロックの反省

前跳躍ブロック長 小谷野陽平

今年度は1年生5名（内混成2名）を加え、総勢15名で活動してきました。

ブロック長になり、1番大切にすることはブロック員全員がメニューを理解し、納得して練習を行えるようにしたこと。そうするために日立で連絡の取り辛い中でもミーティングやLINE、練習中での声掛けを積極的に行ってきました。その結果、1年生でもメニューについての質問、意見が出るようなブロックになってくれたように思います。

昨シーズンは、「関東インカレ全員出場」、「全員自己ベスト」の二つの目標を掲げて活動してきました。具体的でかつ高い目標を掲げたことにより、ブロック員全員が高い意識を持ち練習に取り組むことができていると思います。その結果、シーズン初期での2年次高田の関東カレ標準切りや、関東インカレでの4年次木内智也の6位入賞などが跳躍から部全体を盛り上げていくことができたと思います。しかし、関東インカレを意識しすぎたあまり、関東インカレ後の練習が少し中だるみになってしまい、シーズン後半であまり良い結果を出すことができなかつたのではないかと思います。

11月よりブロック長を2年次池田と交代しました。日立ブロックであるため跳躍ブロック員全員で池田をサポートしていきたいと思っています。そして来シーズンは全員が笑顔で終われる結果を残したいと思っています。

以上で跳躍ブロックの反省とさせていただきます。

投てきブロックの反省

前投てきブロック長 島田夏純

昨年の北関東五大学対校戦後に前投擲ブロック長の川嶋から引き継ぎ、一年間活動してきた。

私の投擲ブロック長の目標として「茨城大学陸上競技部を引っ張るブロックにすること」だった。全体的に見たらチームに貢献することができたと思うが、自己ベストを更新できたのは七人中二名しかいなかった。個々の力をもっと伸ばせずに一年間が終わったことが一番の後悔だ。もっとブロック員とコミュニケーションをとってメニューなど工夫したり、練習盛り上げたりできればさらにいい方向に進めたと思う。

現在は石井にブロック長を引き継いで活動している。少ない人数ではありますが、協力して、引き続き茨城大学陸上競技部を引っ張る存在感のあるブロックであり続けたいと思う。そして、一年間ブロック長を通して学んだことを生かして石井だけでなく他のブロック員のサポートをしていきたい。

マネージャーブロックの反省

前マネージャーブロック長 片見恵都

今年度のマネージャーブロックは、新入部員を加えることなく、総勢4名で活動してきました。今シーズンを振り返ると、インターシップや教育実習等の関係でブロック員全員が揃うことが少なく、練習の際の一人一人の負担が増える、選手に協力をお願いするといったことが多々あったように感じます。これにより、SSDなどのメニューでのスムーズさの低下などの問題が起こってしまいました。しかし、プラス面もあったように感じます。選手がマネージャーの仕事を理解し、手伝いを申し出てくれる、タイム計測しやすいようにスタートの位置を配慮するといった変化を感じる事ができました。マネージャーの仕事は「何でもやってあげる」というものではありません。部活をよくするため、選手に目標に一步でも近づいてもらうために何ができるのかを考え、実行することが一番大事なことではないかと思っています。その点からも選手に変化があったことは決してマイナスではなかったと思います。

また、同時にマネージャーにはブロック間をつなげるという役目もあります。しかし、これについては不十分であったと感じています。マネージャーはどのブロックとも接しており、一番部を俯瞰して見ることができる立場です。その立場を活かし、例えば、ウエイトの時間の調整の手伝いなどといったこともできたのではないかと感じています。

このたび、ブロック長を木村に引き継ぎました。今後、マネージャーブロックは二人となり、さらに選手の協力が必要になります。しかし、マネージャーの仕事の質が落ちることは避けていきたいです。そのために、業務の効率化、取捨選択を行い、質の維持、向上に努めていきます。同時に、選手にもタイム計測の仕方等、共有できるところは共有し、一緒に部活、そして練習の質を高めていきたいと思っています。何でもやってあげるマネージャーではなく、一緒に成長していくこのできるマネージャーブロックに変化していきますので、今後ともよろしくお祈いします。

日立ブロックの反省

前日立ブロック長 小谷野陽平

今年の4月に、中島、住田、小久井、坂根、高田、牧原の6名を加えて活動してきました。昨シーズン、日立ブロックのからは関東カレ出場者が4名、うち入賞者2名で優勝者が1名と、日立ブロックから盛り上げていくことができたと思います。

今年は去年参加できなかった関東理工系に参加することが出来ました。当日の天候もあまりよくなく、良い結果を出すブロック員は多くありませんでしたが普段とは違う雰囲気の中で試合を臨むことができたため各々発見の多い大会になったと思います。

今年度の反省といえば、理工系のエントリーミスです。エントリーを1人のブロック員に任せていましたが、大学のテスト期間とエントリー期間がかぶってしまったこともあり一部のブロック員がエントリー漏れしてしまうということが起きてしまいました。同学年でコミュニケーションをとり確認をしっかり行っていればなくせたミスであると思うため、来年以降このようなミスが一切ないよう日立ブロック員全員で確認を怠らないようにしていきます。

以上で日立ブロックの反省とさせていただきます。

II. 2018 年度活動報告

2018 年度活動報告

日程	大会名	場所
5/24～27	第 96 回関東学生陸上競技対校選手権大会(関東インカレ)	相模原ギオンスタジアム(神奈川)
6/15～17	2018 日本学生陸上競技個人選手権大会	Shonan BMW スタジアム平塚(神奈川)
7/6～8	第 73 回茨城県陸上競技選手権大会	笠松運動公園陸上競技場(茨城)
8/11	第 53 回千葉大学茨城大学対校陸上競技定期戦	千葉県総合スポーツセンター陸上競技場(千葉)
8/22～23	第 67 回関東甲信越大学体育大会	新潟市陸上競技場(新潟)
8/24～26	第 91 回関東陸上競技選手権大会	笠松運動公園陸上競技場(茨城)
9/6～9	第 87 回日本学生陸上競技対校選手権大会(日本インカレ)	等々力陸上競技場(神奈川)
	第 50 回関東理工系学生対校陸上競技大会	鴻巣市立陸上競技場(埼玉)
9/15～17	第 29 回関東学生新人陸上競技選手権大会	相模原ギオンスタジアム(神奈川)
9/18～20	第 33 回国公立 27 大学対校陸上競技大会	熊谷スポーツ文化公園陸上競技場(埼玉)
9/30	第 24 回関東大学女子駅伝対校選手権大会	印西市千葉ニュータウン(千葉)
10/5～9	第 73 回国民体育大会	9.98 スタジアム(福井)
11/3	第 69 回北関東五大学対校陸上競技大会	笠松運動公園陸上競技場(茨城)
12/2	第 73 回三浜駅伝競走大会	ひたちなか(那珂湊)
12/16	第 19 回荒川河川敷大学対校駅伝競走大会	荒川河川敷(東京)
12/22～24	宇都宮・千葉・群馬・高崎経済・埼玉・白鷗大学合同合宿	阿字ヶ浦海岸
1/13	第 16 回国公立 27 大学対校駅伝大会	熊谷スポーツ文化公園(埼玉)
1/27	第 67 回勝田全国マラソン	ひたちなか

i) 大会後記

第 97 回関東学生陸上競技対校選手権大会

(2018/5/24~27 相模原ギオンスタジアム：神奈川)

本年度の関東インカレは、相模原ギオンスタジアムにて行われました。茨城大学からは個人種目で男子 10 名女子 4 名と男女のリーメンバーが出演し、4 年次木内が男子 2 部棒高跳びにて自己ベストを更新、同じく 4 年次中浦が男子 2 部やり投げにて連覇を成し遂げるなど、昨年よりも多岐にわたる活躍が見られました。

本大会では、昨シーズンから怪我に苦しんでいた 4 年次が参加標準突破を果たすなど、最後の関東インカレに懸ける 4 年次の想いの強さを感じました。今後も、4 年次の陸上に対する姿勢を見て、考え、学び、成長していけるチームでありたいです。(文責：中浦凌馬)

関東インカレ結果(出場者)

種目	名前	記録	順位
男子 200m 予選	齋藤 海斗	22.07(+2.1)	
男子 110mH 予選	立林 和歩	15.25(-1.6)	
男子 400mH 予選	川原 直之	52.95	
	本吉 広武	54.26	
男子 400mH 準決勝	川原 直之	53.06	
	本吉 広武	55.28	
男子 3 部 3000mSC 決勝	小野 隼太	9:29.37	1 位
男子 4×100mR 予選	本吉・齋藤・木村(優)・石崎	44.79	
男子 4×400mR 予選	立林・木村(優)・石崎・川原	3:25.64	
男子 走高跳決勝	小沼 祐希	NM	
男子 棒高跳決勝	木内 智也	4m70	6 位
男子 三段跳決勝	高田 樹	14m09	
男子 やり投決勝	中浦 凌馬	67m38	1 位
	川嶋 康祐	NM	
男子 十種競技	小沼 祐希	100m 11.86(-0.7) 走幅跳 6m00(-0.9) 砲丸投 9m18 走高跳 1m96 400m 53.80 110mH 17.75(-5.1) 円盤投 27m26 棒高跳 3m30 やり投 40m30	

		1500m 4:57.92	
		5526 点	
女子 4×100mR 予選	高橋・小林(莉)・笹崎・谷口	49.74	
女子 4×400mR 予選	高橋・小林(莉)・堀邊・笹崎	4:00.15	
女子 棒高跳決勝	池田 風香	3m30	
女子 砲丸投決勝	神山 結衣	11m83	
女子 円盤投決勝	神山 結衣	44m71	7 位
	山形 菜々子	40m76	
女子 やり投決勝	島田 夏純	43m42	



第 54 回千葉大学茨城大学陸上競技大会

(2018/8/12 千葉県総合スポーツセンター陸上競技場：千葉)

本大会は千葉大学主催で行われました。昨年のリベンジということもあり男女総合優勝を目指して臨みましたが、ともに 2 位という結果に終わりました。昨年に引き続き非常に悔しい結果であったといえます。主力選手の怪我や就職活動により、各種目のベストメンバーで臨めず、出場した選手も力を十分に発揮できず、優勝を逃し 1 点を絞り取れないなど、課題の浮き彫りになる試合となりました。

来年度は千葉大学主催の千葉開催となります。本年度の悔しさを存分にぶつけ、男女総合優勝を目標に競技に取り組んでいきます。(文責：川嶋康祐)

千葉対校結果(優勝者)

種目	氏名	記録
男子 5000m	小野 隼太	15:55.85
男子 110mH	立林 和歩	15.40(+0.2)
男子 3000mSC	小野 隼太	9:58.48
男子 棒高跳	木内 智也	4m20
男子 三段跳	小林 洋大	13m80
男子 砲丸投	中浦 凌馬	11m00
男子 円盤投	中浦 凌馬	34m26
男子 やり投	中浦 凌馬	64m26
女子 110mH	高橋 美緒	15.24(+0.2)
女子 砲丸投	神山 結衣	11m85
女子 やり投	島田 夏純	44m90



第 67 回関東甲信越大学体育大会

(2018/8/22~23 新潟市陸上競技場：新潟)

第 67 回関東甲信越大学体育大会は新潟市陸上競技場で開催されました。女子は総合 2 位という素晴らしい結果を残すことができました。しかし、男子は総合 7 位であり、競技結果からみて一人一人が最大限のパフォーマンスできていればもっと上の順位を狙えたように感じます。それでも猛暑の中、自己ベストを更新する者や入賞することができた選手もおり、日々の努力が反映されてきたように考えられます。

来年度は茨城大学主催の関東甲信越体育大会となります。競技結果だけでなく、運営においても、チーム一丸となり頑張っしてほしいと思います。(文責：川原直之)

種目	記録	氏名	順位
男子 200m	22.46(-2.7)	齋藤 海斗	5 位
男子 400m	49.28	川原 直之	1 位
	51.26	佐々木 幹太	6 位
男子 800m	1:58.54	前川 凜太郎	6 位
男子 1500m	4:17.88	前川 凜太郎	7 位
	4:18.15	小久井 健将	8 位
男子 110mH	14.89(+2.4)	立林 和歩	2 位
男子 4×100mR	43.16	中島(太)・立林・木村(優)・石崎	7 位
男子 4×400mR	3:30.52	立林・伊藤(俊)・中島(佑)・佐々木	6 位
男子 棒高跳	4m00	高田 樹	7 位
男子 三段跳	13m80(+1.8)	木内 祥太	8 位
男子 やり投	52m03	川嶋 康祐	8 位
女子 400m	58.24	小林 莉菜	3 位
女子 1500m	4:55.36	福島 清香	3 位
	4:57.78	大塚 千穂	4 位
女子 5000m	18:42.73	福島 清香	2 位
	18:47.79	金子 美鈴	3 位
	19:28.85	大塚 千穂	6 位
女子 100mH	14.50(+2.2)	高橋 美緒	4 位
女子 400mH	1:03.64	小林 莉菜	3 位
女子 4×100mR	50.13	高橋・小林(莉)・谷口・藤澤	4 位
女子 4×400mR	4:14.18	山本(紗)・堀邊・谷口・木村(琴)	5 位
女子 走高跳	1m40	神原 彩花	5 位
	1m40	関口 りょう	6 位
女子 砲丸投	10m61	山形 菜々子	2 位
	8m53	島田 夏純	8 位
女子 円盤投	39m89	山形 菜々子	1 位
女子 やり投	47m23	島田 夏純	1 位

第 87 回日本学生陸上競技対校選手権

(2018/9/6~9 等々力陸上競技場：神奈川)

今年度の日本インカレは9月6~9日に神奈川県等の等々力陸上競技場で行われ、茨城大学からは4年次の中浦が男子やり投、神山が女子円盤投に出場しました。例年3日間開催でしたが、今大会からタイムスケジュールが変更となり、4日間開催になりました。

昨年出場していたこともあり、大会の雰囲気にもまれることなく競技をすることができました。しかし、2名とも納得のいく結果を残すことができませんでした。日本インカレ入賞を目標に日々の練習に励んできたこともあり、とても悔しいです。一筋縄ではいかない全国大会のレベルの高さを痛感しました。

日本インカレは誰もが出場できる試合ではありません。そんな試合に来年度からも後輩に出場してもらい、素晴らしい活躍をすることを期待しています。(文責：神山結衣)

日本インカレ結果(出場者)

種目	氏名	記録
男子 やり投	中浦 凌馬	66m66(19位)
女子 円盤投	神山 結衣	42m49(17位)

第 33 回国公立 27 大学対校陸上競技大会

(2018/9/18~20 熊谷スポーツ文化公園陸上競技場：埼玉)

今年度の第 33 回国公立 27 大学対校陸上競技大会は、9 月 18 日から 3 日間、埼玉大学を主催校として、熊谷スポーツ文化公園で行われました。今年度から、新たに名古屋市立大学が加わり、27 大学での対校戦となりました。結果は、男子 8 位、女子 4 位でした。昨年に比べ、得点、順位ともに下がってしまいましたが、棒高跳での木内(智)の優勝、やり投での中浦の大会新記録の樹立、砲丸投と円盤投での神山の優勝があり、フィールドの活躍が目立ちました。さらに、中浦と神山が最優秀選手賞に選出され、茨城大学の存在感とチームへの勢いをもたらしてくれました。来年は、さらに多くの選手が上の舞台で活躍できるよう、日々精進していきます。(文責：高橋美緒)

27 大学対校結果(入賞者)

種目	記録	氏名	順位
男子 110mH	15.07(-1.3)	立林 和歩	6位
男子 3000mSC	9.24.42	小野 隼太	4位
男子 棒高跳	4m60	木内 智也	1位
	4m40	小谷野 陽平	5位
男子 やり投	71m10	中浦 凌馬	1位
男子 十種競技	6012点	川原 直之	3位
女子 400m	58.54	小林 莉菜	6位
女子 1500m	4.53.83	大塚 千穂	8位
女子 5000m	17.57.63	大塚 千穂	6位
女子 100mH	14.74(+1.2)	高橋 美緒	7位
女子 400mH	64.96	小林 莉菜	5位
女子 4×100mR	50.06	高橋・小林・谷口・藤澤	5位
女子 4×400mR	4.01.77	高橋・小林・山本・堀邊	7位
女子 棒高跳	3m00	池田 風香	4位
女子 走高跳	1m50	藤澤 真由	6位
女子 砲丸投	12m09	神山 結衣	1位
	10m47	山形 菜々子	4位
女子 円盤投	39m81	神山 結衣	1位
	38m69	山形 菜々子	2位
女子 やり投	45m60	島田 夏純	5位
女子 七種競技	3585点	神原 彩花	7位

第 24 回関東大学女子駅伝対校選手権大会

(2018/9/30 印西市千葉ニュータウン周回コース：千葉)

今大会は、例年とは少しコースが変わっての開催となりました。結果としては総合 20 位と、それぞれが持っている力を出し切った結果でした。繰り上げスタートになることなく、来年の出場も決まりほっとした反面、ライバル校である東京学芸大学に 3 分以上の差をつけられ、悔しさが残りました。私立の強豪校とはレベルが違うと諦めるのではなく、少しでも追いつく・互角に戦うくらいの気持ちをもって大会に臨む必要があると感じました。これからも、出場だけを目標にせず、高いレベルで勝負できる力をつけていきます。(文責：金子美鈴)

関東大学女子駅伝(29km) 総合 20 位

	1 区 (4.8km)	2 区 (3.3km)	3 区 (5.6km)	4 区 (3.9km)	5 区 (6.7km)	6 区 (5.6km)
氏名	福島 清香	中原 千尋	大塚 千穂	山本 麻友子	金子 美鈴	山崎 ひかる
記録	17.59	12.44	20.41	15.45	25.19	23.21
順位	(区間 22 位)	(区間 19 位)	(区間 17 位)	(区間 22 位)	(区間 19 位)	(区間 24 位)
総合	17.59(22 位)	30.43(20 位)	51.24(20 位)	1:07.09(20 位)	1:32.28(20 位)	1:55.49(20 位)



第 69 回北関東五大学対校陸上競技大会

(2018/11/3 笠松運動公園陸上競技場：茨城)

今年度最後の対校戦であった北関東五大学では、目標であったアベック優勝を飾り、4年時の小林が女子 MVP を獲得しました。自己ベストを更新したのは5名であり、特に男子 110mH では、2名が同レースにて茨大記録を更新するという目覚ましい結果でありました。対校種目だけでなく、特に、オープン種目の 4×400mR への出場が多く、大変盛り上がった対校戦となった印象があります。今後もこのような雰囲気や取り組みを大切にしていきたいと感じました。

また、本対校戦は、茨城開催であり、運営をしながらの競技となり、両立ができていた点も評価できると思います。対校戦に臨むうえで、各個人の目標、意気込みの明確化、共有など、働きかけも大変評価できると感じます。

来年度の北関東五大学は宇都宮にて開催されます。今年からのアベック優勝を継続できるよう、各個人及び部全体での反省を踏まえ、精進していきたいと思います。(文責：立林和歩)

北関東後大学対校結果(優勝者)

種目	記録	氏名
男子 5000m	15. 07. 84	小野 隼太
男子 110mH	14. 85(+0. 1)	立林 和歩
男子 400mH	52. 91	川原 直之
男子 3000mSC	9. 26. 90	小野 隼太
男子 走幅跳	6m49(+0. 8)	小林 洋大
男子 三段跳	13m85(+0. 3)	小林 洋大
女子 400m	58. 14	小林 莉菜
女子 100mH	15. 30(-0. 8)	高橋 美緒
女子 400mH	64. 09	小林 莉菜
女子 砲丸投	11m13	神山 結衣
女子 円盤投	39m30	神山 結衣
女子 やり投	48m03	島田 夏純



第 73 回三浜駅伝

(2018/12/02 那珂湊)

今年度の三浜駅伝は男子から 2 チーム、女子から 1 チームが参加した。結果としては男子 1 部が総合 1 位、2 部が部門 4 位、女子が総合 1 位だった。順位だけを見れば善戦だったが総合タイムに着目すると男女ともに決して良いとは言えないタイムであった。今大会を通して、チームとして対抗駅伝に向けて戦う態勢が整ってきた。今回の結果から各々の課題克服に努め、与えられた役割を果たしていきたいと思う。また、この結果に満足せず来シーズンも男女ともに連覇を果たしたい。(文責：伊藤裕紀)

三浜駅伝結果(33.9km) A チーム 一般男子一部 1 位 総合 1 位

	1 区(6.1km)	2 区(7.5km)	3 区(3.3km)	4 区(6.8km)	5 区(4.5km)	6 区(5.7km)
氏名	金子 暖慈	小野 隼太	小久井 健将	中島 康平	北條 大地	伊藤 裕紀
記録	19.31	22.47	9.54	21.56	14.31	18.05
順位	(区間 3 位)	(区間 1 位)	(区間 2 位)	(区間 3 位)	(区間 2 位)	(区間 1 位)
総合	19.31(3 位)	42.18(1 位)	52.12(1 位)	1:14.08(1 位)	1:28.39(1 位)	1:46.44(1 位)

B チーム 一般男子二部 4 位

	1 区(6.1km)	2 区(7.5km)	3 区(3.3km)	4 区(6.8km)	5 区(4.5km)	6 区(5.7km)
氏名	本田 峻	中里 純也	嶋崎 拓海	小磯 裕人	中島 佑介	上山 翔太
記録	21.07	25.30	10.32	22.52	15.29	19.31
順位	(区間 7 位)	(区間 6 位)	(区間 1 位)	(区間 4 位)	(区間 6 位)	(区間 5 位)
総合	21.078(7 位)	46.37(6 位)	57.09(5 位)	1:20.01(4 位)	1:35.30(4 位)	1:55.01(4 位)

三浜駅伝結果(20.2km) 一般女子 1 位

	1 区(6.2km)	2 区(5.1km)	3 区(3.7km)	4 区(1.9km)	5 区(3.1km)
氏名	大塚 千穂	金子 美鈴	福島 清香	山本 麻友子	中原 千尋
記録	23.27	17.43	13.16	7.04	11.14
順位	区間 2 位	区間 1 位	区間 1 位	区間 1 位	区間 1 位
総合	23.27(2 位)	41.10(1 位)	54.26(1 位)	1:01.30(1 位)	1:12.44(1 位)

第19回荒川河川敷大学対校駅伝競走大会

(2018/12/16 荒川河川敷：東京)

第19回荒川河川敷大学対校駅伝競走大会には、男女共に対校1チーム、そしてオープンには男子が1チーム出場しました。昨年度に比べて天候に恵まれ、対校男女、オープン共に総合タイムを上げることができましたが、いずれも目標としていた総合タイムを下回る結果となってしまったため、各個人が自分の調子に合わせてしっかりと調整を行うべきだと感じました。男子は、対校の部では、目標としていた8位入賞には惜しくも届きませんでしたでしたが、それぞれ粘りの走りを見せ3区の小野は区間賞を獲得しました。オープンの部では、目標としていた部門8位入賞を達成することができ6位入賞しました。対校女子の部では、目標の優勝、そして大会6連覇を達成することができ、1区の金子(美)、4区の大塚が区間賞を獲得することができました。来年度以降も気を抜かず、優勝を重ねられるように努力していこうと思います。(文責:大塚千穂)

荒川駅伝結果(42.195km) 対校男子 総合10位

	1区(10km)	2区(3km)	3区(8km)	4区(8km)	5区(5km)	6区(8.195km)
氏名	前川 凛太郎	小久井 健将	小野 隼太	金子 暖慈	中島 康平	伊藤 裕紀
区間	32.44	9.18	24.28	26.38	16.01	27.17
順位	(区間17位)	(区間6位)	(区間1位)	(区間13位)	(区間5位)	(区間13位)
総合	32.44(17位)	42.02(13位)	1:06.30(7位)	1:33.08(7位)	1:49.09(8位)	2:16.26(10位)

オープン 総合6位

	1区(10km)	2区(3km)	3区(8km)	4区(8km)	5区(5km)	6区(8.195km)
氏名	北條 大地	小磯 裕人	中里 純也	古川 裕隆	嶋崎 拓海	牧原 大信
区間	33.15	9.59	27.11	27.16	16.53	28.31
順位	(区間6位)	(区間13位)	(区間9位)	(区間7位)	(区間4位)	(区間12位)
総合	33.15(6位)	43.14(7位)	1:10.25(7位)	1:37.41(7位)	1:54.34(5位)	2:23.05(6位)

荒川駅伝結果(34km) 対校女子 総合1位

	1区(10km)	2区(3km)	3区(8km)	4区(8km)	5区(5km)
氏名	金子 美鈴	中原 千尋	福島 清香	大塚 千穂	山本 麻友子
区間	37.25	11.28	30.29	30.08	19.46
順位	(区間1位)	(区間3位)	(区間3位)	(区間1位)	(区間3位)
総合	37.25(1位)	48.53(2位)	1:19.22(2位)	1:49.30(1位)	2:09.16(1位)

第 16 回国公立 27 大学対校駅伝大会

(2019/1/19 熊谷スポーツ文化公園：埼玉)

第 16 回国公立 27 大学対校駅伝大会が埼玉県の熊谷スポーツ文化公園で開催されました。男女共に対校 1 チーム、オープンには OG チームを含め計 5 チームが出場しました。今年は晴天に恵まれ、また気温も例年より高く、選手としては走りやすかったのではないかと思います。

結果として対校男子は総合 8 位入賞でした。ここ最近では 1 区で小野がリードを築き、そのリードを後続区間で守れず入賞にあと一步届かないといったレースが続いていたため、今大会での入賞は今シーズンの集大成として、また来シーズンに向けてとても大きなものとなりました。対校女子は今年も健闘したものの惜しくも 2 位という結果に終わりました。この悔しさは来シーズン必ず晴らして欲しいと思います。

今大会で 4 年生が引退しました。後輩達には来シーズン素晴らしい結果を残せるよう頑張ってもらいたいと思います。(文責：半澤裕太)

27 大駅伝結果(38.51km) 対校男子 総合 8 位

	1 区(9.85 km)	2 区(3.12 km)	3 区(7.57 km)	4 区(5.0 km)	5 区(5.0 km)	6 区(8.00 km)
氏名	小野 隼太	小久井 健将	前川 凜太郎	中島 康平	伊藤 裕紀	金子 暖慈
区間	29.58	9.45	24.35	16.18	15.54	25.58
順位	(区間 2 位)	(区間 8 位)	(区間 14 位)	(区間 13 位)	(区間 3 位)	(区間 11 位)
総合	29.58(2 位)	39.43(3 位)	1:04.18(5 位)	1:20.36(8 位)	1:36.30(6 位)	2:02.28(8 位)

オープン A 茨城大学 B

	1 区(9.85 km)	2 区(3.12 km)	3 区(7.57 km)	4 区(5.0 km)	5 区(5.0 km)	6 区(8.00 km)
氏名	北條 大地	半澤 裕太	本田 峻	中里 純也	嶋崎 拓海	古川 裕隆
区間	33.12	10.10	25.58	17.21	16.58	27.05
総合	33.12	43.22	1:09.20	1:26.41	1:43.39	2:10.44

27 大駅伝結果(16.24km) 対校女子 総合 2 位

	1 区(5.0 km)	2 区(3.12 km)	3 区(3.12 km)	4 区(5.0 km)
氏名	大塚 千穂	福島 清香	山本 麻友子	金子 美鈴
区間	18.34	11.20	11.53	18.34
順位	(区間 6 位)	(区間 3 位)	(区間 1 位)	(区間 3 位)
総合	18.34(6 位)	29.54(4 位)	41.47(4 位)	1:00.21(2 位)

オープンB 茨城大学C

	1区(5.0 km)	2区(3.12 km)	3区(3.12 km)	4区(5.0 km)
氏名	飯島 一史	中島 佑介	稲葉 恵莉	坂根 領斗
区間	18.20	10.34	12.49	17.30
総合	18.20	28.54	41.43	59.13

オープンB 茨城大学E

	1区(5.0 km)	2区(3.12 km)	3区(3.12 km)	4区(5.0 km)
氏名	齋藤 海斗	小林 莉菜	佐久間 彩	立林 和歩
区間	19.26	13.18	14.36	20.02
総合	19.26	32.44	47.20	1:07.22

オープンB 茨城大学F

	1区(5.0 km)	2区(3.12 km)	3区(3.12 km)	4区(5.0 km)
氏名	小沼 祐希	小林 洋大	島田 夏純	小谷野 陽平
区間	19.54	12.22	14.45	19.36
総合	19.54	32.16	47.01	1:06.37



第 67 回勝田全国マラソン

(2019/1/27 ひたちなか)

1月27日に第67回勝田全国マラソンが開催され、フルマラソンと10kmに4年次、中長ブロックが出場しました。最高学年が大学最後のレースとして出走し、後輩達は5km毎に沿道で応援することが恒例となっています。

当日は風が強く午後になるにつれて気温が下がり、完走を目指す選手にとっては厳しいコンディションとなりましたが、出走した4年次全員が30kmの関門を突破し、無事にゴールしました。また中長ブロックも2年次前川、3年次大塚、院1年次小野が入賞し、存在感を見せました。

レース中、多くの地元の方々が沿道から「茨大がんばれ」と声をかけて下さいました。改めて多くの方々に支えられて競技を続けていることを実感することができました。来年以降も勝田マラソンが、応援して下さいる方々への感謝の気持ちと、地元茨城との繋がりを感ずることができるような、部として大切にされる大会であって欲しいと思います。(文責：小野隼太)

勝田全国マラソン結果

男子マラソン 39歳以下の部(2670人中)					
氏名	記録	順位	氏名	記録	順位
小野 隼太(M1)	2:32.37	15位	本吉 広武(4)	5:38.01	2391位
古川 裕隆(2)	3:31.16	735位	木内 智也(4)	5:55.46	2603位
半澤 裕太(4)	3:32.12	747位	川嶋 康祐(4)	5:56.40	2623位
齋藤 海斗(4)	3:52.16	1034位	澁谷 惇徳(4)	5:56.40	2624位
木内 祥太(4)	5:11.42	2120位	川原 直之(4)	なし	
大貫 将人(4)	5:11.43	2121位	伊藤 俊亮(4)	なし	
女子マラソン 39歳以下の部(391人中)					
金子 美鈴(4)	3:26.18	32位	佐久間 彩(4)	5:56.40	383位
小林 莉菜(4)	4:27.51	160位	神山 結衣(4)	5:56.40	384位
高橋 美緒(4)	5:56.40	382位			
男子10km 39歳以下の部(1187人中)					
前川 凜太郎(2)	32.40	7位	中島 康平(3)	37.19	51位
本田 峻(3)	33.49	20位	小磯 裕人(2)	40.23	79位
牧原 大信(2)	35.23	37位			
女子10km 39歳以下の部(642人中)					
大塚 千穂(3)	38.37	8位	山本 麻友子(3)	41.19	12位

ii) その他の主な競技会の結果

茨城県選手権(2018) 8位入賞者

種目	氏名	記録	順位
男子4×100mR	李家・本吉・中島康太・佐々木	43.16	8位
男子走高跳	澁谷 惇徳	1m85	8位
男子三段跳	木内 祥太	13m98(+0.7)	8位
男子棒高跳	木内 智也	4m40	4位
男子やり投	中浦 凌馬	67m64	2位
女子400m	小林 莉奈	59.65	2位
女子5000m	大塚 千穂	18:29.41	6位
女子100mH	高橋 美緒	15.07(+0.6)	3位
女子4×400mR	笹崎・高橋・小林・山本	4.03.10	3位
女子三段跳	藤澤 真由	10m51(-0.5)	8位
女子走高跳	芝崎 祐美	1m55	4位
女子棒高跳	池田 風香	3m10	2位
女子砲丸投	山形 菜々子	10m42	8位
女子円盤投	山形 菜々子	38m83	5位

その他の競技会(入賞者)

大会名	日時	種目	氏名	記録	順位
埼玉県選手権	6/22～24	400mH	川原 直之	52.74	4位
静岡県西部選手権	4/14～15	100mH	立林 和歩	15.12(+1.2)	3位
静岡県西部選手権	4/14～15	400mH	立林 和歩	57.97	6位

iii) その他の活動

協力審判員

茨城大学陸上競技部は、競技者として活動するだけでなく、協力審判員としても陸上競技に携わっています。協力審判員としての活動を通して、大会の裏方の役割を理解し、その後の陸上競技に役立てることができました。2018年の北関東五大学対校では茨城大学が主催となり、大会運営の難しさを痛感しました。日頃よりお世話になっている陸協の皆様へ感謝の気持ちを持ち、協力審判員としても陸上競技に携わりながら、陸上競技に取り組んでいきたいと思っております。(文責：中島佑介)

主な審判員活動の内容

跳躍審判、投てき審判、監察員、周回記録員、風力計測員、写真判定員、記録員、競技者係、出発係、スターター・リコーラー

2018年度審判補助員活動一覧

月日	大会名
4/21	日立記録会
5/3	県中学記録会
6/2	県中学記録会
6/9	県中学記録会
6/10	日立記録会
6/16	全国小学生陸上競技交流大会茨城県選考会
6/30～7/1	茨城県中学通信
7/15～7/16	茨城県中学総体
9/1	日立記録会
10/21	茨城県小学生陸上
10/28	水戸黄門漫遊マラソン
3/24	楮川駅伝

冬季合同合宿

12月22日～24日にかけて、阿字ヶ浦にて冬季合同合宿を行いました。茨城大学、宇都宮大学、群馬大学、高崎経済大学、埼玉大学、白鷗大学の6大学と、県内の高校生が参加した大規模な合同合宿となりました。3日間、各ブロック練習をメインに、阿字ヶ浦海岸、国営ひたち海浜公園、村松海岸、笠松運動公園を利用して練習を行い、最終日は阿字ヶ浦海岸にて全員でエンドレスリレーを行いました。また今年は、2日目の笠松運動公園での練習に横浜国立大学の伊藤信之先生をお呼びして、跳躍ブロックが指導を受けました。日本代表コーチの経験もある先生からのご指導は、とても貴重な経験となりました。

今年度は2泊3日で開催することができ、練習時はもちろんのこと食事時など練習以外の時間でも他大学のみなさんとたくさん交流することができました。部員全員がさまざまな刺激を受け、今後の冬季練習、来シーズンに繋がるとても有意義な合同合宿となりました。試合ではライバル関係になりますが、互いに高め合いながら切磋琢磨していきたいです。(文責：山形菜々子)

Ⅲ. 2018 年度シーズンの抱負

主将抱負

主将 山形菜々子

今年は「競技力向上—考える人になれ—」という年間目標を掲げて活動しています。わたしたち茨城大学陸上競技部の活動目的は「競技力向上を通して人間力を向上させること」です。これらの実現に向けて、大学陸上競技生活で出会うさまざまな仲間と関わり、その中で一人ひとりが考えて行動することで、自分自身の競技力向上はもちろん、人間力（社会に出て通用する力）を向上させることのできるチームを目指していきます。

また今年は関東甲信越大学体育大会の主催があります。競技面でも運営面でも一人ひとりが考えて行動することで、チーム一丸となって大会を盛り上げることができると考えています。主催大会に限らず、すべての対校戦を全員で戦い抜きます。

主将に就任し不安もありますが、この貴重な経験を私自身の成長に繋げていきたいと思っております。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

主務抱負

主務 木村香穂

今年度の主務を務めさせていただくことになりました。「これでいい、ではなく、これがいい」と決断できる主務、スタッフになることが目標です。また、マネージャーであるという強みを活かし、広い視野を持って活動していきます。

今年度は関甲信の主催も控えています。大きな大会ではありますが、滞りなく進むよう努めて参ります。至らない点もあると思ひますが、どうぞよろしくお願ひ致します。

短距離ブロックの抱負

短距離ブロック長 谷口寧那

今年度の短距離ブロックの目標は「全員自己ベスト更新」と「各対校戦での入賞」です。

一つ目の目標は、ブロック員各々の最終目標を達成するために不可欠な目標だと考えています。最終目標から逆算した具体的なビジョンづくりや自分の課題や強みを明確化し、この目標を実現させていこうと思ひます。

二つ目の目標は、昨年度の対校戦において引退された4年生の力に頼りすぎてしまった反省からこの目標を立てました。より強くなった新しい短距離ブロックを作っていきます。

少人数になった短距離ブロックだからこそできることを模索し、部を盛り上げたいと思ひます。この1年間よろしくお願ひします。

中長距離ブロックの抱負

中長距離ブロック長 前川凜太郎

今年度の中長距離ブロック長を務めます前川凜太郎です。本年度の中長ブロックは、練習の中から何が必要か、いま行っている練習はどのような意味があるのかをしっかりと考えることを心得とし、個々のレベルを上げるによりブロック全体のレベルを押し上げていければ良いと思ひます。

各種対校戦や駅伝でも昨年度の結果を超えていけるように部員同士で切磋琢磨しあいながら練習に取り組んでいきたいと思ひます。また昨年度に引き続きブロック員が多いことを活かし、中長距離ブロックからチームに良い雰囲気を作っていきたいと思ひます。一年間よろしくお願ひします。

跳躍ブロックの抱負

跳躍ブロック長 池田風香

昨シーズンの跳躍ブロックの反省として、各対校戦で選手が持っている能力を出し切れずに入賞を逃してしまうことが多くあったことがあげられます。そのため、今年度の跳躍ブロックの目標はシーズンを通して結果を出し続けることです。関東インカレだけでなく、全ての対校戦で跳躍ブロックが一番多く点数を取れるようにブロック員同士で高めあっていきたいと思います。

競技力で陸上競技部を引っ張っていけるブロックになるよう努力していきたいと思いますので、一年間よろしく願いいたします。

投てきブロックの抱負

投てきブロック長 石井達之

今年の投擲ブロックの目標は二つあります。1つは「全員自己ベスト更新」です。この目標はとてもシンプルではありますが最も難しい事だと思います。全員が自己ベストを更新するために日々の練習や試合で「考える人」になり、精一杯取り組んでいきたいと思っています。2つ目は「関東インカレ全員出場」です。昨シーズン2年生以上全員出場したので今年も続いて出場出来るように盛り上げて、他ブロックを刺激できるような投擲ブロックを目指していきたいと思っています。とても少ない人数ではありますが、個性豊かな投擲ブロックの応援よろしく願いします。

マネージャーブロックの抱負

マネージャーブロック長 木村香穂

今年度のマネージャーブロック長を務めさせていただくことになりました。マネージャーブロックは、選手51人に対して、2人というのが現状です。昨年までのマネージャーの人数が多かった分、選手の皆さんに至らないと感じられてしまう点は多々あると思いますが、精一杯サポートして参ります。

「求められていること」を探し、選手を「信じ」、「ともに戦う」マネージャーブロックを目指します。どうぞよろしくお願い致します。

日立ブロックの抱負

日立ブロック長 牧原大信

日立ブロックは少人数で一緒に練習できることが少ないので、モチベーションの低下によって練習の継続ができないといったことが懸念されます。しかし、その中でも個人個人が意識をもって、競技力を向上できるように練習に取り組んでいきたいです。

来年度は日立ブロックに新しく3人が加わります。人数が少ないので学年間のかかわりを密にして日々の練習に精進していきたいと思っています。

IV. 2019 年度活動予定

2019 年度活動予定

日程	大会名	場所
	第98回関東学生陸上競技対校選手権大会	
6/7～9	2019日本学生陸上競技個人選手権大会	Shonan BMW スタジアム平塚(神奈川)
6/27～30	第103回日本陸上競技選手権大会	東平尾公園博多の森陸上競技場(福岡)
7/	第74回茨城県陸上競技選手権大会	
8/11	第54回千葉大学茨城大学対校陸上競技定期戦	千葉県総合スポーツセンター陸上競技場(千葉)
8/20～21	第68回関東甲信越大学体育大会	笠松運動公園陸上競技場(茨城)
	第92回関東陸上競技選手権大会	
9/12～15	第88回日本学生陸上競技対校選手権大会(日本インカレ)	岐阜メモリアルセンター長良川競技場(岐阜)
9/	第51回関東理工系学生対校陸上競技大会	鴻巣市立陸上競技場(埼玉)
9/	第30回関東学生新人陸上競技選手権大会	未定
9/22～24	第34回国公立27大学対校陸上競技大会	上尾運動公園陸上競技場(埼玉)
9/	第25回関東大学女子駅伝対校選手権大会	印西市千葉ニュータウン(千葉)
10/4～8	第74回国民体育大会	笠松運動公園陸上競技場(茨城)
10/	第96回東京箱根間往復大学駅伝競走	昭和記念公園(立川)
10/6	第70回北関東五大学対校陸上競技大会	栃木県総合運動公園(栃木)
12/	第74回三浜駅伝競走大会	ひたちなか(那珂湊)
12/	第20回荒川河川敷大学対校駅伝競走大会	荒川河川敷(北上)
12/	宇都宮・千葉・群馬・高崎経済大学合同合宿	阿字ヶ浦海岸
1/	第17回国公立27大学対校駅伝大会	熊谷スポーツ文化公園(埼玉)
1/	第68回勝田全国マラソン	ひたちなか
3/	第29回楮川駅伝競走大会	楮川ダム(水戸)
3/	関東学連春季オープン陸上競技会	未定

V. 引退される先輩より

伊藤俊亮

茨城大学の陸上競技部に入部して、早いもので4年たちました。卒業生から後輩たちに向けてこのような機会を設けていただいたので、少しでも言葉が伝わればと思います。

茨城大学の陸上部の強みは人数の多さです。よく部員の少ない部の活躍のほうが目立ちやすく美談にされがちですが、練習の競争相手は多いに越したことはありません。日立に移動して痛感した部分もあります。自分は陸上競技自体が好きなのではなく、個人競技としながらも他のメンバーと勝ちに向かい高め合うことが好きだったんじゃないのかな、と振り返ればそう感じています。大体はどの種目も人数がそろっていて、練習相手に困ることはないと思います。その相手に勝とうとか追い抜こうとか力むのではなく、一緒にもう1本、一緒にもう1セット、一緒にもう1分みたいな心構えでいいと思います。それだけで、思ったよりも多くの練習量になっています。皆さんは茨大でできる努力を最大限活かして4年で納得できる記録を出してください。27大や関東インカレで活躍できるチーム全体のレベルアップを期待しています。

工学部/マテリアル工/短距離

100m・11秒40 / 200m・22秒73 / 400m・50秒33



海野優佳

11月3日に引退してからというもの、曜日感覚はなくなり、グラウンドの様子を見ながら1人寂しく帰る日々が続き、改めて自分の生活の中心は陸上競技部での活動だったのだと感じています。

陸上競技部で過ごしたこの4年間は、陸上や人との関わりなど、様々なことを学んだ実りあるものとなりました。なぜこの練習をするのか、もっと効率よく練習を回すにはどうすればよいのか、選手が知りたい情報は何か、なぜ方向性が合わないのか、何に悩んでいるのだろうか、陸上や人間関係について考える時間が高校の頃に比べて何倍も多かったように感じています。同時に、自分で考えるだけでなく、分からないことを選手に聞いたり相談したりすることで、陸上の奥深さと楽しさを知ることが出来ました。人間関係についても、個性溢れる人が何十人もいるからこそ良いことも悪いことも経験できたのだと思います。また、私は陸上競技部での活動は、社会の縮図だと思っています。

あいさつやマナー、上下関係や人間関係、報・連・相・確の徹底、集団を率いる難しさなどは、ただ大学生活を送っているだけでは学べなかったかもしれません。他の学生がなかなか学べないことを私は思う存分学べ、これからの社会人生活につながるとても良い経験をさせてもらいました。

たくさん悩み、学科の友人に愚痴することも多々ありましたが、友人からは「なんだかんだ言いながら楽しそうだよ」とよく言われました。大変なことでも心の奥底に楽しむ気持ちややりがいがあれば頑張れる、ということはこの4年間で学ばせてもらいました。後輩の皆さんもたくさん辛いことや辞めたくることがあるかもしれませんが、自分の心の奥底に陸上を楽しみたい気持ちがあるうちは、ぜひ続けてほしいと思います。いい記録が出たり、部員同士で切磋琢磨したりしている時の皆さんの顔はとっても素敵なので。

最後になりましたが、今までご指導くださった先生方、支えてくださった先輩方、同期、後輩の皆さん、本当にありがとうございました。

教育学部/養教/マネージャー



大貫将人

部誌を書きます。いつも言われるように4年間というものはあっという間でした。ついこの前入部したと思えば、捻挫でシーズンを棒に振り、自己ベストを出し、腰椎分離症で長期離脱し、ブロック長をやり、引退しました。あんなに先輩方があっという間だから一日一日を大切にというのはなぜか少しくらいは妥協してしまうのはなぜなのだろうとつくづく思います。少し妥協するときもでてきてしまうので、いつも引退間近になって悔いというものが襲ってきます。あれはとても恐ろしいものです。そいつのせいで部活中の一番悔しい場面が引退ということになってしまいます。引退するときに後悔しないようにとよく言われますが、そのようなことは不可能だと思ってしまいます。絶対どこかで満足ができずに悔いが残ります。しかし、まれに悔いがなくて終わる人もいます。そのような人たちがいつも羨ましいです。このつつい妥協してしまう性格を直せるようにその人たちを参考にこれから頑張りたいと思います。



ただ、唯一一回でしたが、自己ベストを出すことができたことが、救いです。欲を言えばまだまだ全然記録としては満足できないです。しかし、陸上競技をやる以上一回でも自己ベストを出すことができれば、それまでの努力が救われた気がします。そのときの気持ちは忘れずにこれから生きていきたいです。

教育学部/スポーツ/跳躍

走幅跳・6m57 / 三段跳・12m60

金子美鈴

わたしの中で、陸上競技部での活動はとても大きいものでした。毎日の楽しみであり、生活の一部であり、自分の居場所です。わたしの人生、部活なしでは語れません。

大学4年間での陸上生活は、決して思い通りにはいきませんでした。まともに走っていた時期の方が短く、記録を伸ばせなかったことは、本当に悔しいです。4年間を振り返ってみると、自分と向き合うこと、自分を大切にすることが1番大事なことだと感じます。(わたしが引退する時にもお話しました。)陸上競技をする上で1番大切な、自分の身体。記録を出すためには、元気な身体と元気な気持ちがあることが前提だと思うので、後輩の皆さん、自分を大切にしてください。怪我が多い人は、とくに。

茨大の陸上競技部には、尊敬できる人がたくさんいました。練習への取り組み方、考え方、競技成績、努力する姿…。ただ一緒にいて楽しいだけではなく、自分に刺激を与えてくれる人、目標となる人がたくさんいました。そんな人たちがいる環境で活動できていたからこそ、最後までやりきることができたと思っています。先輩、同期、後輩、関わってくださった全ての方々に感謝しております。これからは市民ランナーとして、競技者としての自覚を持ち、生活していきたいと思います。初めてのフルマラソン、勝田マラソンの記録を塗り替えること次回の目標とし、いろんなロードレースにチャレンジしていきたいです。



最後に、先生方。本当にお世話になりました。的確なアドバイスや、自分で成長するための糸口をたくさん与えて下さいました。4年間で学んだことを無駄にせず、必ず今後活かします。熱心にご指導して下さい、ありがとうございました。

教育学部/スポーツ/中長距離

1500m・4分46秒98 / 5000m・17分10秒01

神山結衣

4年間を振り返ると、陸上競技を中心に生活をしていたとはっきり断言できます。「高校時代までの悔しかった経験を大学で晴らす」という思いから、大学でも競技を続けようと思ひ、何をやるにも私の中で優先順位の一番上は陸上競技でした。誰か強制されたわけではなく、陸上競技が大好きだから自然とそうなっていました。私自身4年間で何度か怪我もしましたし、部活を辞めて別の環境で競技をしたいと強く思った時期もありました。それでも「陸上競技が嫌い」とは一度もならず今に至ります。今後は競技者ではなく観戦・指導者として大好きな陸上競技と関わっていくつもりです。でもやっぱり練習して記録を出すことの楽しさと喜びを忘れられないので数年後競技をしているかもしれません。その時はセパレートを着てみたいです。



本当にあつという間の4年間で驚いています。自己ベストが出て思わず叫んだ試合もあれば、涙が止まらなかった試合もありました。走跳投の練習をやりたいだけできた時期もあれば、ブルーシートの番人になっていた時期も経験しました。自分の意見だけを通すのではなく、相手の意見も受け入れながら物事を進めていく大切さを学びました。伸ばした記録と共に増えていった体重を引退してから必死に落とし、元気に勝田マラソンを走り切ることもできました(6時間以内に完走できて記録証ゲット!)。辛いこともありますが、楽しい・嬉しい記憶の方がその何億倍も多いのはいつも周りの人に支えられていたからだと感じています。そんな人たちに出会えて幸せな4年間でした。後輩の皆さんもそんな限りある時間を大切にしてください。

最後になりましたが、たくさんお世話になった渡邊先生、上地先生、尊敬できる先輩方、自慢の同期、伸びしろたくさんした後輩、多くの刺激と知識を私に与えてくださった方々、本当にありがとうございました。

教育学部/保健体育/投てき

円盤投・45m66 / 砲丸投・12m52 / ハンマー投・36m67

川嶋康祐

実は私は高校の6月まで帰宅部でした。体育祭でスカウトされてひょんなことから始めたものは、気付けば居場所に、周りは愛する仲間たちに囲まれ、生きがいともいえるものになっていました。競技を引退したのち、大学の4年間を思い返してみると、本当に色濃くて、充実していて、できることならあと半年、あと1年、この仲間たちと陸上を続けたいと今でも思っています。

一番充実していた時期といえば、主将をつとめた1年間でしょうか。あれほど業務や準備に追われていたにもかかわらず、一度ももう嫌だ、やりたくないなどとネガティブな発想には至りませんでした。それも、私が相談したらいつも親身に聞いてくれる先輩方がいて、時に私が、〇〇がしたい! やりたい! といえばそのために準備してくれる同期がいて、私がやることについてくれる後輩たちがいたからだと思ひます。

周りに支えられることを格好が悪いことだという人も、世の中にはいるのかもしれませんが、私はそうは思いません。私は誰かに支えられ、誰かも私に支えられ、そうやって人は生きていくのだと思ひます。茨城大学陸上競技部という環境が、私にそう教えてくれました。



陸上競技を始めて、大学でも続けて、茨城大学の陸上競技部のメンバーに出会えて、本当に良かった!

我が陸上人生に、一片の悔いなし。

教育学部/健康/投てき

やり投・58m62 / 100m・11秒60

川原直之

どうも。かなり自由に部活やらせてもらいました川原です。競技に関することは反省文集に書いたのですが、今回はある時期の正直な気持ちを記していきます。

自分で言うのもなんですが、昔は真面目だったと思います。大学1年の頃は、来年はブロック長になって短距離を引っ張るという想いがありました。ですが大学2年の夏、先生に「川原は短距離ブロック長はダメだ」と言われ、その理由を問うことなく同期は私を選択肢から外しました。その瞬間自分は必要ないんだと感じてしまったんですね。ここから茨城大学陸上競技部に対して心が離れていきました。まあ、だったらもっと自分から主張すれば良かった訳ですし、自分に非があっただけの話です。

その後家庭環境との兼ね合いで休部をして、部活に戻って来てからは自由にやらせてもらった訳なんですけど、今の部員は人に合わせて過ごしている人が多いように感じました。自分は必要ないと感じれば行わず、悪い言い方をすればやりたいようにやっていた少数派の人間です。だからこそ思うのが、人に合わせて生きて何が良いんだろうかということ。そんなじゃ自分が自分でなくなりませんか？個性を殺しているように思います。人に合わせるのではなく、自分の意見をぶつけられるような素晴らしい環境ができることを期待しています。

4年間お世話になりました。

教育学部/スポーツ/短距離

400m・49.28/110mH・14.86/400mH・52.54/十種競技・6012点 11.43(-1.4) 6m64(+0.6) 8m36 1m75 49.87 15.08(+0.9) 26m31 3m00 47m04 4.55.17

木内祥太

大学に入学してもう4年の時が経ちあつという間だったなと感じています。始まりはなんとなくで入部した陸上部でしたが、思い返してみると陸上部に入ったからこそこんなに楽しい仲間たちと充実した時間を過ごせたんだなと思っています。

今になって一番感じているのは仲間の大切さです。いくら練習しようと思っても一人の力ではできることも限られてきますし、モチベーションも上げにくいと思います。そんな時に部活の内に“この人がいるから頑張れる”、“この人には負けたくない”っていう人がいればつらい時でも前向きに練習に励めると思います。そんな人がいれば今後も大切にしていってください。

競技面では納得のいく結果が出せず後悔がたくさん残ってしまったのですが、来年からは茨城大学の大学院に進学予定で、陸上競技は学業に影響しない範囲で続けていく予定です。後二年間部活を続ける機会があるので、二年後一つでもいいのでこれだけは後悔なくやり遂げることができると言い張れるものができるよう頑張りたいと思います。

最後に指導してくださった先生方、応援してくださった先輩方、ともに過ごした仲間へ心から感謝申し上げます。

工学部/機械工/跳躍

三段跳・13m98/走幅跳・6m52



木内智也

大学生活の4年間は長いようであっという間でした。私は茨城大学大学院に進学し引き続き陸上部に所属する予定なので、今回は簡単にすまさせていただきます。

私は中学、高校と陸上を続けてきましたがこの大学4年間で自分にとって最も濃い陸上人生だったと思います。今まで当たり前のようにいた専門の指導者がいなかったり、人生で初めて肉離れをしたりと本当にいろんなことがありました。しかし、同時に陸上競技に対して今までで一番向き合うことができたと思います。様々なサイトで棒高跳の練習法を調べたり、同じ陸上部員にいろいろなアドバイスを求めたりと、自分の中の競技に対する知見を広げることができました。

また、チームで練習する楽しさをとっても実感しました。特に日立に来てからは1人で練習する時間が増えどうしても練習で妥協することがありました。なので、きついときもありましたが全体でおこなうポイント練習の日が1週間の楽しみでした。試合で応援してもらえたときはすごく嬉しかったし、チームメイトが良い記録を出したときはとても刺激になりました。残りの2年間も部に貢献できるよう日々の練習を頑張ろうと思います。最後になりましたが4年間指導してくださった上地先生、渡邊先生、後輩の皆さん、ありがとうございました。これからもよろしくお祈り申し上げます。4月から社会人になる同期の皆さんの新天地でのご活躍、心よりお祈り申し上げます。

工学部/機械工/跳躍

棒高跳・4m70



木村優

四年間の陸上生活を振り返り、何が楽しかったのか考えました。私は陸上の楽しいところは結論が意外なところにあることだと考えます。私の経験を踏まえ説明していきます。私はかかと接地の癖があり、どうすればよいか考えてきました。はじめの頃は足先を意識して、かかとから接地しないように気をつけてきました。このことについて考えてきた今、結論としては、重心の真下に身体全体で乗り込むようにし、その結果、自然と足がかかとでない部分から接地されると考えています。このように、課題のある部分だけを意識するのではなく、他の動作によって、結果的に改善する、これが私にとっての陸上の楽しさです。

目標としていた10秒台で100mを走ることが達成できていないので、社会人になってからも、この目標の達成を狙っていきたいです。

教育学部/理科専修/短距離

100m・11秒26 / 200m・22秒82



小林莉菜

卒業論文が一段落し、学生生活が残り2ヶ月で終わってしまうのだと思うと寂しく感じると同時に、学生生活でやり残しが無いよう、1日1日を大切に過ごしています。

入学当初は、競技を続けるつもりは全くなかったのですが、私が思い描いていた大学生活とは異なる4年間でした。(私は、ちゃんと毎日私服で学校に行き、おしゃれなカフェに行ったり、バイトしてたくさん旅行したり、きらきらした大学生を夢見ていました。)

しかし、理想と現実とは全く違う4年間でしたが、私はとても楽しくて充実した日々を過ごすことが出来ました。毎日一生懸命走って、陸上を中心とした生活をして、1つのことに真剣に向き合い、貴重な時間を過ごせたことを誇りに思います。辛かったメニューも今思えば良い思い出です。そして、切磋琢磨し、励まし合い、たくさん支えてくれた仲間に出会えてとても幸せです。

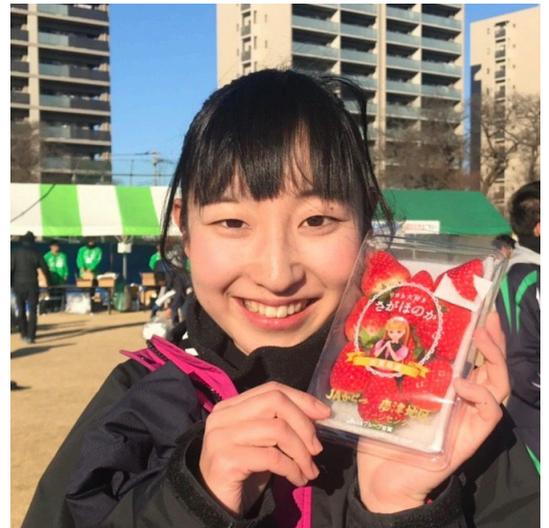
しかし、関東インカレの出場権を手に入れたものの突破時期が遅かった為、出場出来なかったことは今でも少し心残りです。だから後輩の皆さんには、引退の際、後悔がなく、全力を尽くせて終われたと笑顔で言えるよう毎日の時間を大切にしたいと思います。

そして、これからは今までたくさんの人に支えられた分、誰かを支えられるようになりたいです。

最後になりますが、ご指導してくださった先生方、たくさんのことを教えてくれ、応援してくださったOB、OGの先輩方、そしていつも近くに来てくれた同期、一緒に戦ってきた後輩の皆さん、そして、10年間陸上をやらせてくれた家族に心から感謝申し上げます。そして、これからも茨城大学陸上競技部を応援しています。

教育学部/健康/短距離

400m・58秒14 / 400mH・62秒86 / 200m・25秒77



齋藤海斗

あつという間の4年間でした。1年生の時に陸上競技部を見学しに行ったことがつい昨日のように感じます。入部した当時は、これ以上100mのタイムを伸ばすのは難しいのではないかと感じていたため、まだ競技経験の浅い400mHとどちらをメインでやっていくか本当に迷ってました。そこで、当時の4年生に100mのタイムをこれ以上伸ばす自信がないと相談した所、才能は関係なく技術の面で十分にタイムを伸ばすことができると言ってもらえ目が覚めました。その時の私は、がむしゃらに走っているだけで技術など考えてもいなかったため、100mは完全に才能の世界だと思い込んでいたのです。その言葉が無ければ、10秒台・21秒台を出すことはできていなかったかもしれません。むしろ、400mHがメイン種目になっていたかもしれません…笑

メイン種目を100mに切り替え、2戦目の千葉対校にて11"19と当時の自己ベストに迫る記録を出し、調子を取り戻したかと思ったのですが、それ以降記録は低迷していきました。そんな時、上地先生からアドバイスを頂き記録の低迷を防ぐことができました。その節はお世話になりました。その他にも、初めて対校選手として走った200mで撃沈し失意のどん底にいた私を励ましてくれた秀斗さん本当にありがとうございました。このスランプをきっかけに、考えて走ることや走り方の見直しを意識するようになり以後記録が大きく落ち込むことは無くなりました。今思うと良い経験です。

4年間、陸上競技部で活動してきて、つらかったこともありますが総じて楽しかったです。時間のほとんどを陸上競技に費やし、陸上競技と真正面から向き合い本気で取り組むことができたことは私の財産です。テンポ走なのに全力で私のことを抜きにかかる優くんと一緒に練習できなくなるのはさみしいですね…優くん空家くん4年間一緒に練習できて楽しかったです、ありがとう。最後になりますが、指導してくださった先生方、応援してくださったOBOGの先輩方、一緒に戦ってきた皆様に心から感謝申し上げます。

人文学部/社会科/短距離

100m・10秒96 / 200m・21秒80 / 400m・50秒85



佐久間彩

厳しい寒さを運ぶ風が名残惜しそうに去り、紅白の梅の蕾が映える時期となりました。11月の頭に陸上部を引退したと思えば、卒業論文に追われてあっという間に年が明け、そうこうしているうちに、自分にも部誌を書く時期がやってきてしまいました。

思い返してみると、大学に入学してから4年間の生活は部活を中心に回っていました。部活をやっている人たちはみんなそうだと思います。しかし、わたしは時間的には部活が中心でしたが、内容的にはそうではありませんでした。言ってみれば時間に縛られて、振り回されていた気がします。限られた時間の中で自分で時間を作り、やるべき事をするという事ができていませんでした。大学陸上で大切なことは、自立と自律だと痛感しました。皆さんには是非、自分の力で行う能力を身につけ、自分を律する強い気持ちを持って陸上に取り組んで欲しいです。

陸上競技を通して、様々な人や、自分の新しい気持ちと出会いました。その全てに、必要のないものはなかったと思います。たくさんの方がいる茨大の陸上部だからこそ、様々な価値観に触れることができ、多様な生き方や考え方を学ぶ事ができ、視野が広がりました。プラスなこともマイナスなことも、自分の成長の糧になってくれました。

陸上部に入ったからには、競技力の向上という大きな目標があります。私にはそれができませんでした。だから笑顔で引退できませんでした。後悔はたくさんありますが、それらは美化せずに、今後の人生のステップにしたいと思います。

最後に、素敵な出会いと素敵な経験に感謝します。

教育学部/スポーツ/短距離

400mH・63秒03 / 100mH・15秒41



澁谷惇徳

大学生生活4年間の陸上競技を引退した今日、振り返ってみると私の生活は日々陸上競技に彩られていたのだと実感させられます。4年間という長くて短いこの期間に自身の周りで起こったことは沢山あったであろうに、真っ先に思い出すのは毎日の練習や様々な大会での情景、そして苦楽共にした仲間とのたわいもない会話ばかりです。それだけ生活の中心に部活動があったのだと部から離れてようやく気づかされます。

私は中学の頃から、道具も何も使わず自分の身体一つで高く跳ぶ走高跳というシンプルかつ美しい競技性に魅せられ競技を始めました。そして大学に入学してもなお誰よりも「高く、美しく」跳びたいという気持ちが変わらずあったので入部を決断しました。そんな中これまでに、左膝の半月板という靭帯を損傷して手術を行い、1年程満足に走れない状況が続くという辛い期間もありました。しかしながら、もう一度バーを気持ち良く背面跳びで越えたいという感情からやれるだけの事を行い、その結果練習や大会でしっかり跳べるようになりました。私はここに陸上競技の魅力があるのだと感じます。多くの選手は何度怪我をしたとしてもリハビリをして這い上がり、また競技場に戻って来られるよう努力します。今までの自分より「速く・高く・遠く」に記録を残すことがどんなに爽快で快感な事か知っているからなのでしょう。陸上競技はそんな素晴らしいさを教えてくれるスポーツなのだとは感じられます。

また、私はなにより個性豊かな同期の仲間から心から感謝を送りたいです。陸上選手にとって1年間走れないという事は相当辛いことです。そういった状況の中、毎日私に話しかけ、良い意味でいじってくれ、面白い空気感を作ってくれたお陰で、走れなくても自然とグラウンドに足を運んでいました。そしていつのまにか、大学生活における私の居場所は茨大陸上部となっていました。

大学生生活4年間で本当の意味で楽しく競技を貫徹できたのは、同じく誰よりも目一杯楽しんで競技を行っていた同期の皆の力があってこそだと実感します。本当にありがとう！

そんな皆とはこれからも付き合っていくと思うから、たまに集まってまたたわいもないバカな話で盛り上がりましょうね！

それではまた逢う日まで…。

人文学部/人文コミュニケーション/跳躍

走高跳・1m95



高橋美緒

大学4年間、多くのことを学び、貴重な経験をさせていただきました。高校までは、1人で練習することが当たり前でしたが、大学に入るとハードル仲間がいることに驚き、一緒に練習できる仲間の存在がこんなにも大きいものかと痛感しました。特に、同期という大きな存在に恵まれ、大学でも部活を続けて良かったと思っています。

4年間を振り返ると、決して楽しいことばかりではありませんでしたが、陸上中心の日々を過ごすことができ、私は幸せ者だと感じています。本当に充実した4年間でした。必ず、この経験が今後生きてくると思うので、後輩の皆さんにも陸上競技に力を注いでほしいと思います。

最後になりますが、上地先生、渡邊先生をはじめ、私を成長させてくれたすべての方に感謝申し上げます。

今後の茨城大学陸上競技部の更なる活躍を期待しています。

教育学部/健康/短距離

100m・13秒18 / 200m・26秒73 / 100mH・14秒74



立林和歩

北関東五大学が終わってから3か月ほど経ちましたが、まだ、自分は「陸上競技から引退していない」と心から言えます。おそらく、これからも趣味程度ではありますが、続けていくと思います。毎年の県選手権に調子を合わせ、いつまで出場継続ができるか挑戦したい、だったり、毎年最低1回はフルマラソンを完走する、など、まだまだやれること、やりたいことはたくさんあります。このように思えるのは、走ること、陸上競技が楽しい、好きだ、と思えるからでしょう。

自分は1年のころからホームページ係を務めました。お恥ずかしい話ではあるのですが、ホームページには部誌のアイコンがあるにもかかわらず、目を通したことがなく、卒業生が執筆するページがあることも知りませんでした。(笑) 後輩の皆さんには、ぜひ目を通してほしいと思います。

最後に、私の大学陸上競技に関わって下さったすべての方々へ、感謝申し上げます。

教育学部/スポーツ/短距離

110mH・14秒85 / 400mH・55秒59 / 100m・11秒14 / 400m・50秒12



半澤裕太

引退してから1ヶ月ほど経ちました。未だに金曜日になると次の日が部活だと勘違いします。私にとって、それぐらい陸上が生活の一部だったのだなと実感します。そんな私は入学当初は陸上部に入るつもりはありませんでした。しかし高校時代からお世話になっていた藤井先輩に誘われ、いざ練習に参加してみると楽しくて仕方なかったです。1年の時は自己ベストを更新し順調でしたが、いつしか入部したころの「楽しい」という気持ちが薄れていくと記録が伸びず怪我をすることが増えていきました。そんな中で私が4年間で一番だと思うレースは3年生の時に出場した箱根予選会です。前年の同じ大会で全くチームに貢献できず今年こそと意気込んだ試合で自己ベストを出すことができ、改めて陸上競技の楽しさを思い出しました。また、長距離ならではの駅伝、これはトラックとは違う楽しさがありました。毎回のように喜んだり悲しんだり、遠くからわざわざ応援に来てくれたり、本当に幸せ者だったなと感じます。

4年間色々な人に出会い、部活と一緒に倒れるまで練習して、部活以外の時間でも遊びに行ったりして、陸上部に入って良かったと心から思います。来年度から私は茨城を出不すがどこかで市民ランナーとして走り続けるつもりです。最後に4年間指導してくださった先生方、応援してくださったOBOGの先輩方、ともに一緒に戦ってきた部員の皆さん、本当にありがとうございました。後輩の皆さんには競技面でも人間面でも一回り成長してお会いできることを楽しみにしています。

工学部/知能システム/中長距離

1500m・4分06秒87 / 5000m・15分25秒08



宮本莉歩

4年間の陸上競技部でのマネージャーとしての活動が終わり、部活が無いと、自分はとても静かな日々を過ごしているのだと感じました。タイムを読んだり、マッサージをしたり、笑いに充ちていたあの頃を少し懐かしく感じています。

4年間を通し、様々な経験をするにつれて、たくさんのことを吸収することが出来たと感じています。その中でも、3つのことは特に今後役に立つことがあると思います。まず、コミュニケーション能力が以前よりも確実につきました。この部には多様な性格の部員が所属しており、今まで出会ったことの無い個性ばかりでした。中でも、全てのブロックの中立的な存在であるマネージャーは、他ブロックとの関わりが密であり、全部員と関わりやすい立ち位置でした。そのため、入部当初からたくさんの先輩方や同期と関わっていくうちに、自分から積極的に話題を振ったり、話しかけたりする力を養うことができました。次に、物事に優先順位をつけて、効率的に処理することが出来るようになりました。部活動に所属しながら、学生の本分である勉学にも励むとなると、1・2年生のうちは授業も多く、特に両立することが大変でした。その中で、少しでも楽に、かつ、素早くタスクをこなすことを優先して行動するようになり、結果として、物事を進めていくための筋道を立てることが出来るようになりました。その経験が3年次と4年次の教育実習で役に立ち、忙しかったけれど先輩方から脅されていたほどは辛くもなく、効率よく仕事をする事が出来ました。最後に3つ目は、臨機応変に対応する力がつきました。マネージャーはよく、練習前の全体集合にて「臨機応変に対応します」と言いますが、本当にその通りです。選手が怪我をした時や、他のブロック同士でタイム計測の時間帯がかぶってしまった時など、緊急かつ迅速な対応が求められる場面が多々ありました。その度に、冷静に的確な対応を心がけて行動してきたため、臨機応変に、柔軟な対応が出来るようになりました。これらの力は今後、社会に出てからも大切になってくるので、大学のうちに貴重な経験や、様々な能力を身に付けることが出来てよかったです。

と、上記の文章では難しいことをつらつらと書き上げましたが、要は、陸上部のおかげで、とんでもなく充実した日々を過ごすことが出来た、ということが伝われば十分です。もちろん楽しいことばかりでなく、辛いこともたくさんありました、が、全てが糧になったのかなあ、と、今では全て綺麗な思い出になっています。

最後になりますが、今まで部活動に関わった全ての人に感謝します。4年間、本当にありがとうございました。

教育学部/理科/マネージャー



本吉広武

7年間学生として関わり続けた陸上競技は一つ区切りを迎え、来年度からは社会人生活が始まります。思い返せば、大学で陸上競技を続けるきっかけは、高校三年生の総体で、目標まであと一步のところでは届かず落ち込む私に恩師がかけた言葉でした。その時恩師は「納得するまで続ければいい。もうやりたくないと思うまで続ければいい。」という言葉を残しました。この言葉を胸に大学4年間陸上競技に捧げ、こうして引退してからも幾度となく考えます。

この4年間、怪我にも苦しみましたし、自己ベストを出す喜び、結果を出すことの高揚感、チームを引っ張ることの難しさ、様々なことを経験しました。沢山の時間を陸上競技に費やし、スタッフ時代は部をどう作り上げるか仲間と散々語り合いました。こんなに何か一つに熱中し、没頭できる時間はなんて贅沢なんだと感じるほど充実していました。正直、まだ陸上競技をしたい自分がいるわけです。まだ、もうやりたくないと思っていないうちは走ることをやめられない人間になってしまったようです。この「まだ走りたい」、そう思ってる自分がいるなら形はどうであれ、社会人になってからも陸上競技と関わり続けていきたいと思います。このように引退してからも素直に思えていることが、大学4年間の全てだと今では感じています。

最後になりますが、大学4年間お世話になった上地先生、渡邊先生、偉大で今も憧れな先輩方、愛する同期のみんな、可愛い後輩達、本当にありがとうございました。そして7年間、サポートしてくれた家族、何かあるたびに突然連絡をくれる恩師にも感謝申し上げます。ありがとうございました。

教育学部/国語/短距離

400mH・53秒50 / 100m・11秒15



VI. OB/OG 近況報告・現役部員へのメッセージ

荒井啓輔

皆さんお久しぶりです。今私は、茨城県のとある中学校で講師をしています。部活はまさかのバスケットボール部。初めての教員生活、初めての陸上以外の指導ということで、大変なことも多いですが、充実した毎日を過ごしています。茨大陸上部の活動も結果報告掲示板等を通していつも楽しみに拝見させていただいております

さて、私が部員の皆さんに伝えたいのは、「今という時間を大切にしてほしい」ということです。時間があるのも大学生のうち。自分の時間を自分のやりたいことに捧げられるのも時間のある大学生のうちしかできません。課題が終わらない、研究が忙しいという人があるかもしれませんが、社会人になってもっと忙しく、時間も無くなります。ぜひ、時間のある大学生のうちに陸上競技はもちろん、いろんなことに挑戦してください。

社会人になっても陸上競技と関わっていたいと思っていた私ですが、昨シーズンの出場試合数はたったの一試合。なかなか思い通りにはいかないものです。今年こそはどこかの競技場で皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。

教育学研究科/保健体育/投てき

やり投・58m99



石堀美柚

みなさん、お久しぶりです。勝マラでは後輩のみなさんに車から応援してもらっても、23キロでギブアップしたわたしです。(笑) あきらめようと思っただけ、応援に励まされてまた走り始める…走りながら、“マラソンは人生に似ている”なんていうどこかで聞いたことのあるフレーズが頭をよぎった“ハーフ”マラソンでした。

お話は変わりますが、みなさんは最近、“休息”できていますか？部誌を書く機会をいただいて改めてこの1年の振り返ると、学生時代よりも何かを落ち着いて考えられる時間が増えたと思います。基本、平日は仕事ですが、土日は休日として過ごすことができる社会人生活が、案外わたしの心にゆとりを持たせてくれています。学生時代、わたしの生活には“休日”がありませんでした。学校、部活、バイトのルーティーンでしっかり自分や自分の生活と向き合う時間をつくれなかったことを少し後悔しています。自分の生活を構築しているものから少し離れて、自分が好きなことをしたり、あえてじっくり将来になりたい自分について深く考えてみたり…気持ちをリフレッシュしたり、整える瞬間は自分で作り出していないといけないんですね。何足もの草鞋を履いて、懸命に走り続ける学生のみなさんにだからこそ、あえて今伝えたいと思います。

“Rest 日が自分を豊かにする”！

最後になりましたが、皆さんの来シーズンの活躍を楽しみに、懲りずに競技場に顔を出したいと思います。懸命に自分と向き合う選手の姿を見ることは、わたしにとって良い心のエネルギーになります。そして、4年生の皆さん、勝マラの完走と学生生活の完走、おめでとう！素敵な門出になりますように。

教育学部/心理/マネージャー



蛭名史織

みなさんお久しぶりです。私は現在、有名なゆるキャラのカミスココ君が示している辺りの学校で体育の教員をしています。私の中学校では毎日何かしらの問題が起きてめまぐるしい毎日を送っています。気付いたら1日が終わり、1ヶ月、1年と時が経っていました。辛いと感じる時はありますが、たくさんの先生からアイデアをもらって授業を考えたり、生徒と関わったりする時間はとても楽しく、教員になって良かったと心から思っています。

たくさんの人から学ぶことがある毎日ですが、その中で生徒から学んだことを紹介したいと思います。それは明確な目標があれば、その目標に向かって全力を尽くすことができることです。体育の授業では、単元の始めに「この授業が終わる時に何ができるようにになりたいか」を考えてもらいます。それと共に、単元の最後に学年総当たりのゲームや発表会という大きい目標を教師から提示します。そうすることで、毎時間のグループ学習の際に自分の課題とグループの課題を加味した練習を自分たちで考えて行うようになりました。また、毎回の授業を大切にしようという意識も表れました。これは陸上生活にも通じるものがあると感じます。自分がどんな競技者になりたいかをイメージを明確にすることで、そこに向かって努力をすることができると思います。4年生の最後にどうなりたいかを考え、そうなるために逆算して日々を送れると良いですね！

陸上を続けていけば楽しいことだけでなく、つらいことも、逃げ出したくなることもあると思います。そんなときは無理をせずに自分らしい生き方を考えて、そこで見えてきた道に進んで欲しいと思います。それが陸上から離れる道でも良いと思います。たとえ遠回りしてでも、自分の納得する道を選ぶことは大切だと思います。

掲示板やSNSを通してみなさんの活躍を見るととても嬉しく、自分も頑張ろうと思う活力になっています。これからも怪我無く元気に頑張ってください。応援しています！

教育学部/健康/短距離

100mH・15秒77 / 400mH・65秒36



大塚美穂

ご無沙汰しております。昨年度卒業しました大塚です。現在は、栃木県の中学校で特別支援学級三年生の担任として働いています。また、陸上競技部の顧問もしています。四月のころは初めての事だらけで苦戦しましたが、月日が経つにつれて、少しずつ仕事にも慣れ、今では楽しく、充実した日々を送っています。三月には生徒が卒業し、それぞれの道を行ってしまいうため、今は寂しい気持ちでいっぱいです。特別支援学級の生徒と日々接していく中で感じたことがあります。それは、『小さな積み重ねが大切である』ということです。特別支援学級では、国語や社会などの教科だけでなく、就労、自立に向けた学習(作業など)があり、働くために必要な基礎を身につけるため、さまざまな取り組みが行われています。授業を通して作業を繰り返し行い、『できた』を積み重ねることで自信につながり、最終的にはサポートを受けずにできるようになっていく生徒の姿を見て、私は積み重ねの大切さを改めて実感しました。また、社会人として働く上で学生時代にご指導いただいたことが生きているなと身にしみて感じています。

現在みなさんは、それぞれの目標に向かって日々の練習に励んでいることと思います。楽しいこと、うれしいこと、つらいことなどさまざまだと思いますが、小さな努力の積み重ね、目標達成に向けて頑張ってください。応援しています。

教育学部/保健体育/跳躍

七種競技・4462点



後藤晴菜

みなさんお久しぶりです。昨年度卒業しました後藤晴菜です。現在は、石岡市の小学校で5年生の担任をしております。とても穏やかで小さな学校で、子どもたちとのびのびとした日々を過ごしています。

それにしても、1年間はあっという間ですね！年中日に焼けながら走って跳んでいた日々がとても愛おしいです。みなさんはそんな日々の渦中にいるのでしょうか。もちろんこの部に所属しているということは、何らかの目的意識をもって日々練習に励んでいることでしょうか。私は、個人としての目的達成ももちろん大事にはしていましたが、チームとしての目的とはなんだろうということを第一に考えながら競技していた時間が長かったように思います。それほどに、チームとして戦う対校戦が好きだったのだと今更ながら気づきました。みんながみんなのために熱くなれるあの場所がたまらないですよ！社会人になった今では、仕事に対してまだそこまでの熱量はなく、陸上は好きですが、一人で続けられるほどの意思もなく・・・何をやってるんだ！と自分に喝を入れながらも、正直目の前のことで精一杯の日々です。

それなりにプライベートも充実してはいますが。なんでしょう、この不完全燃焼感は。それほどに学生時代の陸上生活が充実していたのだと切実に思います。ですので、今しかできないことを、優先順位を見誤ることなく、チャンスをつかみ損ねないように、どんどんチャレンジして行ってほしいと思います。自分の幅や可能性を広げられる力は、社会に出てからもとても大切な力だと思います。そして茨城大学陸上部として、熱々の陸上を繰り広げて行ってほしいと思います。私は、そんな結果報告を楽しみに、そして励みにしたいと思います。ごっつもまだまだこれからです。みなさんも大学での陸上を仲間とともに楽しんでください。

最後になりましたが、茨城大学陸上競技部の活躍を心より祈っています。

教育学部/保健体育/跳躍

走幅跳・5m79 / 100m・12秒79 / 200m・26秒63



小林終次郎

皆さん、お久しぶりです(久しぶりじゃない人の方が多い?)。現在は地元栃木県に戻り、非常勤という形ではありますが、ありがたいことに県立高校で保健体育の講師をやらせていただいています。ただ不思議なことに、この学校は女子生徒しか在籍しておらず、日々(いわゆる)JKたちと戦っております。時にはバドミントン部の生徒に大敗したり、時には卓球で点を決めては大人気なく喜んでみたり、そこそこ充実した(?)日々を送っております。

さて、本題に入りますが、みなさんは陸上競技部に所属しています。陸上競技が生きがいだという人もいますか。しかし、あなたの日々から陸上競技がなくなってしまったとき、何が残るでしょうか?思い描く結果を出して得た自信でしょうか?ライバルに負けて知った悔しさでしょうか?様々あると思います。この気持ちは取り組みが深ければ深いほど、返ってくるものも大きくなっていくはず。「やるからには一生懸命に」。これは基本かと思いますが、できていない人の方が多い印象を受けます(自分自身も含めて)。そうやって、己の価値観を広げて行って欲しいなと思います。プライドが高い人であれば、自分の殻に閉じこもってしまう人もいます。ぜひ、陸上競技の経験を通して、そういった人の理解者になってあげてください。

私事ではありますが、今年度も陸上競技を続けており、ついに100mで高校2年生で出した自己ベストを更新することができました(実に2351日ぶり!)。これも続けていたからこそ味わえた経験の1つだと感じます。まだまだ自分の記録に挑戦を続けます。後輩で「まだ陸上やりたい」という声を聞くだけで嬉しくなります。悩んでいる人、是非一緒に走りませんか?

来年度は五大学対校が栃木県で開催されるとのことなので、元気な姿を見れることを楽しみにしています。長々となりましたが、これでOBからの言葉とさせていただきます。

教育学部/スポーツ/短距離

100m・11秒39 / 200m・23秒43 / 400m・51秒26



富岡泰資

皆さんご無沙汰しております。昨年度卒業しました富岡泰資です。

私は現在鉄鋼の専門商社に就職し、日々全国を飛び回っています。今まで学んできた分野とは全く違う業界での仕事は日々新たな発見の連続で刺激的な毎日を過ごしています。社会人になってみて一番感じている事は休みの日にやることが意外とないという事です。

学生時代はやりたいことや興味のあることについて見つける時間が多くありますが時間があまりすぎて逆に見つけることができません。ぜひ皆さんは時間のある今陸上だけでなく様々な経験をしてやりたいことを見つけてみてください。

あと、学生時代に得た交友関係を大切にしてください。社会人になるとそこまで新たな出会いはなくなります。大学の時の友人や仲間と集まることが仕事へのモチベーションにもつながっていきます。

悔いのない大学生生活を送ってください。

最後になりますが、今後の皆さんの益々のご活躍を祈っています。

教育学部/スポーツ/投てき

砲丸投・9m17 / ハンマー投・43m84



廣瀬未来

みなさんこんにちは！勝田マラソンは、みなさんのおかげでなんとか走りきることができました（笑）ありがとうございました。さて、私は4月から茨城県内の高校で保健体育の教員として働いています。個性的な38人の生徒と優しい先生方と楽しく生活しています。部活は運良く陸上部と陸上部を見させてもらっています。最近では生徒と一緒にやりを投げています。自分の専門以外の種目の技術指導って本当に難しいですね。社会人になってからも勉強の毎日です。もっと勉強しておけばよかったなと思う反面、自分の好きなことに打ち込む時間がたくさんあった学生時代は幸せなことだったなあと感じます。仕事をしていくなかで、スタッフをやったことや競技会を運営したこと、1分間スピーチなど色々なことが役に立っているなあと思います。何事も無駄なことはないですね。

大学4年間の陸上競技生活では、「速さ」よりも「強さ」が大事になる試合を何回も経験しました。「強さ」には勝負強さとか気持ちの強さとか、運の強さとか色々ありますが…。対校戦で勝つためにはそういった部分も必要になってきます。春のシーズンも間近なので、どんなシーズンにしたいのか見直してみるのもいいかもしれません。

来年度も時間を見つけて、練習や大会に顔を出そうと思います。応援しています！

教育学部/健康/中長距離

1500m・4分44秒20 / 5000m・17分46秒07



古田映布

みなさん、最近の調子はいかがですか？2017年度に卒業しました、古田映布です。今年度も様々な大会にお邪魔してはみなさんの活躍を見ることができ、また新しい出会いもあり、楽しませていただきました。

現在は、筑波大学大学院で International Development and Peace through Sport を専攻し、海外からの学生とともに学生生活を送っております。身近に様々な国からの学生がいるので最近では英語のみならず、中国語や韓国語、スペイン語の単語を使って話しをしたり、お互いの文化について語りあったりと今まで以上に異文化に触れては有意義な時間を過ごしております。また、国内外の身体運動を通じた青少年教育を専門に研究しているので、想像していたよりも国内外を飛び回っております。そして、4月からはイギリス南部、サウサンプトンで NGO 団体に6ヶ月間のインターンが決まり、その準備に追われている最中です。



専攻の名前にもある“スポーツを通じた平和構築や開発”といえ、2020年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されようとしています。それに伴い国内ではスポーツを使ったプロジェクトやその効果に注目が集まっています。みなさんをご存知の通り、“スポーツの力”は偉大なもので、人と人とをつなぐことができ、運動をすることで日常生活に必要な能力が学べ、また観ている人には感動を与えることもできます。しかしながら物事には、ポジティブな点がある反面、もちろんネガティブな点も存在します。皮肉にも、商業的スポーツや政治的スポーツの存在が選手の人生への負担になってしまうこともあります。

大学院での授業や研究は、物事の両面を多角的な視点で見つめ、考え、発信し、フィードバックしていくサイクルで、学部生時代に比べ論理的に考えるようになりました。人間は自分勝手なもので、今を生きることに必死になってしまい、「なぜ自分だけがこんな思いを」と考えてしまいがちです。みなさんのなかにも、今まさにそう思っている人がいるかもしれません。もちろん私も思います。しかしながら、その一面だけを見つめては何も変わりません。なぜそうなってしまったのか、なぜそう考えるのか、今どんな状況なのか、どうすれば改善するのか、どうすれば同じ失敗を繰り返さないのか。冷静に考えれば当たり前のことですが、心に余裕がないからこそ、自ら生み出す必要があると考えています。

私は今、同期が6人の小さなコミュニティなので、様々なセミナーやシンポジウムに赴くことでしか多くの人とかかわりを持つことができません。しかしながら、茨大陸上部は大きなコミュニティであり、別の分野で学んでいる仲間とともに時間を共有し、様々な考えに触れることができました。この環境はとても恵まれていることです。本を読めば自分の経験しない世界を感じることができるのと同様に、人と話せばその人数分のもの見方を知ることができます。今後、ダイバーシティが進む社会になっていくなかで、自分とは違う考えを持つ人と関わる機会がどんどん増えていきます。そのとき、自分と考えが違うからといって距離を置くのではなく、「違っていい、そんな考えもあるんだな」と理解しようとしていくことが大切なのではないでしょうか。是非、茨大陸上部は一人ひとりが存在しているだけでなく、お互いが理解し合える環境を持続して行ってほしいと思います。

今後も、茨城大学陸上競技部、全部員の輝く瞬間と、部の活躍を心から楽しみにしています。お喋りマンなので、今後もみなさんとたくさんお話しできればと思っています。

教育学部/保健体育/投てき

やり投・45m31 / 円盤投・31m16 / 砲丸投・8m94

増田梨沙

皆さん、こんにちは！昨年卒業し、あっという間に社会人1年目が終わろうとしています。現在私は都内のIT企業で働いています。大学で学んできたこととは全く違う分野の仕事なので、聞いたこともない言葉が多く飛び交い、勉強の毎日を過ごしています。大変ではありますが、世の中のシステムを支えている技術について学ぶことができるので、とてもやりがいを感じながら仕事をしています。

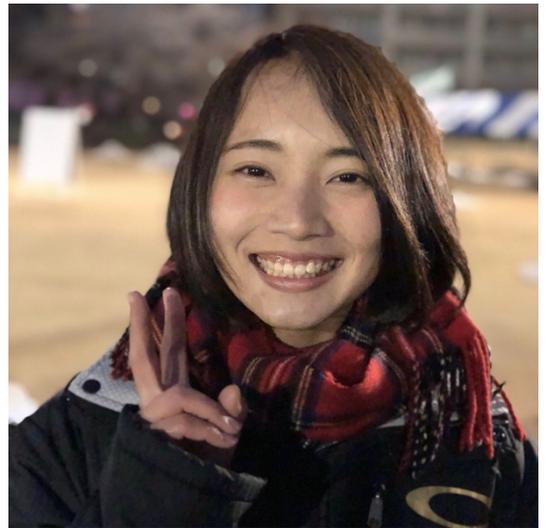
今でも走ることは続けていて、空いている時間があればなるべく走るようにしています。皇居ランナーデビューも無事に果たし、あとはマラソンに挑戦したり、OGチームで駅伝もしたりしました。それでもやっぱり学生の頃のようにガツガツと走ることはできていないので、1月に国公立駅伝を走ったときには驚くほど走れなかったです。ですが、久しぶりにみんなと走ることができて、応援してもらえて、最高に楽しかったです。学生時代はいい記録を出すために毎日練習を頑張っていましたが、今は記録にこだわる必要がないので、単に「走る」ということを楽しんでいます。これから仕事が忙しくなっても、走ることだけは継続していきたいと思っています。

もうすぐ社会人1年目を終えようとしていて私が感じたことは、私が見ず知らずの業界に飛び込んだということもありますが、社会に出てみると本当に自分は何もできないんだということです。今は先輩社員に助けられながら自分のできることを増やしていますが、学生のときにもっとこういう経験をしていれば良かったと思うことが多々あります。後輩の皆さんには、陸上競技に真剣に向き合うのはもちろんですが、時間のある学生のときでしかできないことをいろいろ経験して行ってほしいです。

最後になりますが、来シーズンの皆さんの活躍を楽しみにしています。応援しています！

人文学部/社会科/中長距離

1500m・4分53秒58 / 3000m・10分42秒42



Ⅶ. 記録集

茨大記録【男子】

種目	氏名	記録	期日	大会名	会場
100m	杉崎 弘周	10.51(+1.9)	1998/9/11	日本インカレ	国立競技場
200m	伊藤 太一	21.14(0.0)	2011/9/11	日本インカレ	KKWING
400m	今村 明彦	48.06	1994/9/9	日本インカレ	国立競技場
800m	今井 英明	1:53.9	1990/4/7	学連競技会	筑波
1500m	秋山 陽祐	3:56.42	2007/9/15	関東新人	国立競技場
3000m	小野 隼太	8:38.17	2016/4/2	世田谷記録会	世田谷
5000m	小野 隼太	14:43.80	2017/12/23	松戸市記録会	松戸
10000m	小野 隼太	30:09.21	2018/12/23	松戸市記録会	松戸
110mH	立林 和歩	14.85(+0.1)	2018/11/3	北関東五大学	笠松
400mH	神尾 伸也	52.53	1994/8/23	関東選手権	笠松
3000mSC	小野 隼太	9:06.71	2017/5/26	関東インカレ	日産
5000mW	小向 瑞樹	24:40.48	2009/8/24	国公立22大学	千葉県総合
10000mW	小向 瑞樹	49:38.28	2010/5/16	関東インカレ	国立競技場
4×100mR	伊藤(林)・伊藤(太)・李家・沖崎	40.49	2015/8/8	順大記録会	順天堂大学
4×200mR	浅井・佐藤・大久保・神尾	1:27.38	1995/5/28	リレー選手権	笠松
4×400mR	開・上杉・山本・和田	3:14.60	2008/5/25	関東インカレ	国立競技場
4×800mR	中村・飯塚・林・神尾	7:54.72	1994/5/29	リレー選手権	笠松
4×1500mR	滝沢・根本・千葉・金沢	16:38.08	1981/4/18	リレー選手権	笠松
スウェーデンR	浅井・成石・大久保・岡	1:57.44	1996/5/26	リレー選手権	笠松
走高跳	青木 博光	2m00	1985/9/8	関東選手権	小瀬
	小沼 祐希	2m00	2017/4/16	筑波大競技会	筑波大
棒高跳	岡山 進也	4m90	2001/5/26	リレー選手権	笠松
走幅跳	佐藤 良雄	7m09	1958/7/19	茨城県選手権	土浦
三段跳	吉野 学	14m81(+1.6)	2005/5/13	関東インカレ	国立競技場
砲丸投	海老原 大輔	15m02	2005/8/20	関東選手権	敷島
円盤投	中浦 凌馬	41m77	2016/10/30	北関東五大学	正田醤油
ハンマー投	小林 朋寛	47m61	2013/8/3	千葉対校	笠松
やり投	中浦 凌馬	71m93	2017/05/27	関東インカレ	日産
十種競技	渡邊 将司	6676点	1999/7/17・18	栃木県選手権	宇都宮
5km	富井 一仁	16.18	2011/2/20	結城シルクカップ	結城
10km	千葉 雅昭	31.20	1981/2/11	勝田マラソン	ひたちなか
20km	渡辺 雄馬	1:03.29	2006/10/21	箱根駅伝予選会	昭和記念公園
30km	鈴木 徳次郎	1:41.12	1973/2/17	青梅マラソン	青梅
ハーフマラソン	小野 隼太	1:09.20	2017/3/5	日本学生ハーフ	昭和記念公園
マラソン	秋山 陽祐	2:24.46	2008/1/27	勝田マラソン	ひたちなか

茨大記録【女子】

種目	氏名	記録(風速)	期日	大会名	会場
100m	鈴木 麻理	12.10(+0.8)	2010/10/24	北関東五大学	宇都宮
200m	鈴木 麻理	24.52(+0.1)	2010/10/24	北関東五大学	宇都宮
400m	肥田 埜里枝	56.04	2013/8/10	N. S. S. U オープン	日体大
800m	石澤 ゆかり	2:10.95	2010/9/26	国公立 22 大学	三ツ沢
1500m	野田 春香	4:33.51	2007/9/28	国公立 22 大学	緑が丘
3000m	石澤 ゆかり	9:41.49	2010/11/20	日体大競技会	日体大
5000m	野田 春香	16:28.82	2008/7/13	ホクレンディスタンス	北海道
10000m	黒澤 夏楠	33:35.75	2013/11/23	10000m 記録挑戦競技会	国立競技場
100mH	石川 ちひろ	14.07(+1.5)	2006/6/10	日本インカレ	日産スタジアム
400mH	石川 ちひろ	61.34	2005/9/18	国公立 22 大学	国立競技場
3000mSc	高野 美幸	11:24.53	2015/7/4	茨城県選手権	笠松
4×100mR	酒井・山口・鈴木(麻)・肥田埜	47.67	2012/7/5	茨城県選手権	小吹
4×200mR	黒川・大内・長谷川・呉	1:48.72	1994/5/29	リレー選手権	笠松
4×400mR	林田・鈴木(麻)・肥田埜・小島	3:49.50	2012/9/9	日本インカレ	国立競技場
4×800mR	深谷・飯嶋・小林・柴	9:42.31	1994/5/29	リレー選手権	笠松
スウェーデン R	黒川・呉・長谷川・柴	2:22.05	1994/5/29	リレー選手権	笠松
走高跳	森 あゆ美	1m73	2008/8/26	関東甲信越	熊谷
棒高跳	山内 裕香	3m52	2012/7/6	茨城県選手権	小吹
走幅跳	山口 真未	5m81(-1.3)	2013/8/10	N. S. S. U オープン	日体大
三段跳	遠藤 園子	12m80(+0.7)	2013/10/14	国公立 23 大学	町田
砲丸投	神山 結衣	12m52	2017/6/4	栃木県選手権	宇都宮
円盤投	梅原 由香	45m84	1997/8/23	国体予選	笠松
ハンマー投	弓削 真理子	51m33	2010/5/3	日体大競技会	日体大
やり投	島田 夏純	48m78	2016/10/30	北関東五大学	正田醤油
七種競技	山口 真未	4934 点	2013/9/6・7	日本インカレ	国立競技場
10km	野田 春香	34.16	2008/1/27	勝田マラソン	ひたちなか
ハーフマラソン	黒澤 夏楠	1:14.06	2013/3/17	まつえレディース	島根
フルマラソン	野田 春香	2:42.19	2009/1/25	勝田マラソン	ひたちなか

2018 年度ランキング

【男子】

種目	順位	氏名	記録
100m	1	齋藤 海斗	10.97(+1.9)
	2	柰家 弘樹	11.06(+0.4)
	3	立林 和歩	11.14(+1.4)
200m	1	齋藤 海斗	22.02(+1.0)
	2	中島 康太	22.94(-0.8)
	3	川原 直之	23.03(+1.2)
400m	1	川原 直之	49.28
	2	立林 和歩	50.83
	3	佐々木 幹太	51.15
800m	1	前川 凜太郎	1:57.21
	2	中島 佑介	1:58.25
	3	小久井 健将	2:00.44
1500m	1	前川 凜太郎	4:03.69
	2	小野 隼太	4:04.84
	3	小久井 健将	4:05.89
5000m	1	小野 隼太	14:47.02
	2	中島 康平	15:45.74
	3	伊藤 裕紀	16.06.40
10000m	1	小野 隼太	30:09.21
	2	前川 凜太郎	32:51.85
	3	伊藤 裕紀	32:55.00
110mH	1	立林 和歩	14.85(+0.1)
	2	川原 直之	14.86(+0.1)
	3	住田 光駿	16.09(+1.9)
400mH	1	川原 直之	52.54
	2	本吉 広武	53.50
	3	立林 和歩	55.59
3000mSC	1	小野 隼太	9:20.75
	2	中島 康平	9:53.20
	3	古川 裕隆	10:03.64
4×100mR	1	柰家・齋藤・立林・本吉	41.92
	2	柰家・齋藤・立林・木村	42.34
	3	柰家・本吉・中島(太)・佐々木	42.46
4×400mR	1	立林・川原・齋藤・本吉	3:20.91
	2	立林・川原・齋藤・佐々木	3:22.36
	3	立林・伊藤(俊)・中島(佑)・佐々木	3:23.77
走高跳	1	小沼 祐希	1m90
	2	澁谷 惇徳	1m85
	3	川原 直之	1m76
棒高跳	1	木内 智也	4m70
	2	小谷野 陽平	4m40
	3	高田 樹	4m00
走幅跳	1	石崎 浩太郎	6m82(+0.6)
	2	小林 洋大	6m70(+1.5)
	3	川原 直之	6m64(+0.6)
三段跳	1	高田 樹	14m33(+0.4)
	2	木内 祥太	13m98(+0.7)
	3	小林 洋大	13m85(+0.3)
砲丸投	1	中浦 凌馬	11m00
	2	川嶋 康祐	10m94
	3	小沼 祐希	9m18
円盤投	1	中浦 凌馬	34m26
	2	小沼 祐希	27m26
	3	川原 直之	26m31
ハンマー投	1	川嶋 康祐	31m25

やり投	1	中浦 凌馬	71m10
	2	川嶋 康祐	57m20
	3	松本 直人	47m67
十種競技	1	川原 直之	6012点
	2	小沼 祐希	5526点
フルマラソン	1	小野 隼太	2:32.17
	2	古川 裕隆	3:31.16
	3	半澤 裕太	3:32.12

【女子】

種目	順位	氏名	記録
100m	1	小林 莉菜	12.80(+1.2)
	2	高橋 美緒	13.18(+0.9)
	3	神原 彩花	13.19(+0.5)
200m	1	小林 莉菜	25.77(+1.0)
	2	高橋 美緒	26.73(-0.2)
	3	堀邊 美咲	27.89(+0.3)
400m	1	小林 莉菜	58.14
	2	笹崎 美公	62.25
	3	山本 紗生	63.47
800m	1	中原 千尋	2:25.72
	2	山本 麻友子	2:29.26
	3	稲葉 恵莉	2:32.22
1500m	1	大塚 千穂	4:52.47
	2	福島 清香	4:53.57
	3	金子 美鈴	4:58.46
3000m	1	金子 美鈴	10:35.48
	2	福島 清香	10:56.57
5000m	1	大塚 千穂	17:57.63
	2	金子 美鈴	18:18.36
	3	福島 清香	18:42.73
100mH	1	高橋 美緒	14.74(+1.2)
	2	佐久間 彩	15.75(+0.2)
	3	関口 りょう	18.51(-1.0)
400mH	1	小林 莉菜	62.86
	2	堀邊 美咲	65.73
	3	佐久間 彩	66.23
4×100mR	1	高橋・小林・笹崎・谷口	49.74
	2	高橋・小林・谷口・藤澤	49.96
	3	高橋・小林・谷口・藤澤	50.06
4×400mR	1	高橋・小林・堀邊・笹崎	4:00.15
	2	高橋・小林・佐久間・堀邊	4:00.17
	3	高橋・小林・山本(紗)・堀邊	4:01.77
走高跳	1	芝崎 祐美	1m60
	2	藤澤 真由	1m50
	3	神原 彩花	1m40
棒高跳	1	関口 りょう	1m40
	1	池田 風香	3m30
走幅跳	1	神原 彩花	5m12(+1.9)
	2	藤澤 真由	5m07(-1.7)
	3	佐久間 彩	4m79(+1.7)
三段跳	1	藤澤 真由	10m72(-0.1)
	2	芝崎 祐美	10m31(+1.2)
	3	神原 彩花	10m13(+0.1)
砲丸投	1	神山 結衣	12m09
	2	山形 菜々子	10m61
	3	島田 夏純	8m63
円盤投	1	神山 結衣	45m66
	2	山形 菜々子	41m87
ハンマー投	1	神山 結衣	36m76
	2	山形 菜々子	22m45
やり投	1	島田 夏純	48m03
	2	神山 結衣	27m89
七種競技	1	神原 彩花	3585点
	2	関口 りょう	3258点
フルマラソン	1	金子 美鈴	3:26.18
	2	小林 莉菜	4:27.51
	3	高橋 美緒	5:56.40

対校戦順位

		男子			女子	
順位	総合	トラック	フィールド	総合	トラック	フィールド
第67回関東甲信越体育大会(男子総合7位・女子総合2位)						
1	筑波大学	筑波大学	筑波大学	筑波大学	筑波大学	筑波大学
2	横浜国立大学	千葉大学	山梨大学	茨城大学	千葉大学	横浜国立大学
3	千葉大学	埼玉大学	横浜国立大学	横浜国立大学	都留文科大学	茨城大学
第67回北関東五大学対校陸上競技大会(男子総合1位・女子総合1位)						
1	茨城大学	茨城大学	茨城大学	茨城大学	茨城大学	茨城大学
2	埼玉大学	埼玉大学	群馬大学	宇都宮大学	群馬大学	宇都宮大学
3	群馬大学	群馬大学	埼玉大学	群馬大学	宇都宮大学	群馬大学
第33回国公立27大学対校陸上競技大会(男子総合8位・女子総合4位)						
1	東京学芸大学	東京学芸大学	東京学芸大学	東京学芸大学	福島大学	東京学芸大学
2	横浜国立大学	東北大学	横浜国立大学	福島大学	東京学芸大学	福島大学
3	東北大学	東京工業大学	新潟大学	横浜国立大学	横浜国立大学	茨城大学
第73回三浜駅伝競走大会(一般男子の部【一部】1位・一般女子の部1位)						
1	茨城大学A			茨城大学		
2	我流AC-A			笠松走友会		
3	石巻RC			石巻RC		
第19回荒川河川敷対校競走大会(男子総合10位・女子総合1位)						
1	東京大学			茨城大学		
2	東京理科大学			上智大学		
3	防衛大学			津田塾大学		
第16回国公立27大学対校駅伝大会(男子総合8位・女子総合2位)						
1	信州大学			東北大学		
2	静岡大学			茨城大学		
3	新潟大学			東京学芸大学		

Ⅶ. 部員名簿

学年	氏名	出身校/出身地	ブロック	学部/学科	学年	氏名	出身校/出身地	ブロック	学部/学科
院1	小野 隼太	盛岡第一/岩手	中長距離	理/物理	2年	池田 風香	印旛明誠/千葉	跳躍	教/保体
院1	柰家 弘樹	宇都宮東/栃木	短距離	工/機械工	2年	石崎浩太郎	鉾田一/茨城	跳躍	理/物理
4年	伊藤 俊亮	西宮北/兵庫	短距離	工/マテ工	2年	稲葉 恵莉	並木中等/茨城	中長距離	教/数学
4年	海野 優佳	緑岡/茨城	マネージャー	教/養教	2年	木村 香穂	下妻第一/茨城	マネージャー	教/理科
4年	大貫 将人	竜ヶ崎一/茨城	跳躍	教/スポーツ	2年	木村 琴音	緑岡/茨城	短距離	教/特別支援
4年	金子 美鈴	栃木女子/栃木	中長距離	教/スポーツ	2年	小久井健将	岡崎西/愛知	中長距離	工/都市シス
4年	神山 結衣	那須拓陽/栃木	投擲	教/保体	2年	小澤 舜	竹園/茨城	短距離	教/理科
4年	川嶋 康祐	日大三島/静岡	投擲	教/健康	2年	坂根 領斗	東邦/千葉	中長距離	工/機械工
4年	川原 直之	杉戸/埼玉	短距離	教/スポーツ	2年	笹崎 美公	宇都宮中央女子/栃木	短距離	教/保体
4年	木村 優	緑岡/茨城	短距離	教/理科	2年	嶋崎 拓海	佐原/千葉	中長距離	人/現社
4年	木内 祥太	佐原/千葉	跳躍	工/機械工	2年	住田 光駿	安佐北/広島	短距離	工/知能シス
4年	木内 智也	佐原/千葉	跳躍	工/機械工	2年	高田 樹	成田/千葉	跳躍	工/都市シス
4年	小林 莉菜	水戸葵陵/茨城	短距離	教/健康	2年	谷口 寧那	倉吉東/鳥取	短距離	人/法経
4年	齋藤 海斗	土浦第三/茨城	短距離	人/社会	2年	豊田 真教	船橋東/千葉	短距離	農/地域総合
4年	佐久間 彩	橘/福島	短距離	教/スポーツ	2年	中島 康太	豊田南/愛知	短距離	工/情報
4年	澁谷 惇徳	新発田/新潟	跳躍	人/人コミ	2年	古川 裕隆	会津学鳳/福島	中長距離	教/保体
4年	高橋 美緒	館林/群馬	短距離	教/健康	2年	前川凜太郎	緑岡/茨城	中長距離	教/保体
4年	立林 和歩	掛川西/静岡	短距離	教/スポーツ	2年	牧原 大信	国府/愛知	中長距離	工/情報
4年	中浦 凌馬	水城/茨城	投擲	工/情報	2年	山形菜々子	日立一/茨城	投擲	教/保体
4年	半澤 裕太	熊谷/埼玉	中長距離	工/知能シス	1年	安達宗次郎	高崎/群馬	短距離	教/保体
4年	宮本 莉歩	下妻第一/茨城	マネージャー	教/理科	1年	飯島 一史	栃木/栃木	中長距離	人/法経
4年	本吉 広武	木更津/千葉	短距離	教/国語	1年	石井 達之	名古屋南/愛知	投擲	理/化学
3年	伊藤 裕紀	会津/福島	中長距離	農/地域環境	1年	上山 翔大	三田学園/兵庫	中長距離	工/物質工
3年	大塚 千穂	水戸二/茨城	中長距離	教/理科	1年	金子 暖慈	一関第一/岩手	中長距離	理/物理
3年	小沼 祐希	佐和/茨城	跳躍	人/社会	1年	神原 彩花	並木中等/茨城	跳躍	農/食生命
3年	片見 恵都	水戸二/茨城	マネージャー	人/社会	1年	小磯 裕人	水戸桜ノ牧/茨城	中長距離	理/化学
3年	小谷野陽平	成田/千葉	跳躍	工/都市シス	1年	小林 朗人	帯広柏葉/北海道	中長距離	人/法経
3年	芝崎 祐美	竹園/茨城	跳躍	教/保体	1年	小林 洋大	木更津/千葉	跳躍	工/物質工
3年	島田 夏純	会津学鳳/福島	投擲	教/スポーツ	1年	佐々木幹太	茨城キリスト/茨城	短距離	人/現社
3年	中里 純也	國學院栃木/栃木	中長距離	教/保体	1年	関口りょう	小千谷/新潟	跳躍	教/保体
3年	中島 康平	大湊/青森	中長距離	理/数学	1年	中原 千尋	伊奈/茨城	中長距離	教/数学
3年	中島 佑介	春日部/埼玉	中長距離	人/社会	1年	藤澤 真由	竹園/茨城	跳躍	教/保体
3年	福島 清香	水戸二/茨城	中長距離	教/健康	1年	北條 大地	磐城/福島	中長距離	農/地域総合
3年	堀邊 美咲	日立一/茨城	短距離	教/スポーツ	1年	松本 直人	浜松南/静岡	投擲	工/電電
3年	本田 峻	筑紫/福岡	中長距離	人/人コミ	1年	山本 紗生	牛久栄進/茨城	短距離	教/保体
3年	山本麻友子	水戸一/茨城	中長距離	教/保体					

編集後記

今年も部誌を作成するにあたって、ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。皆様のおかげで、部誌を無事に発行することができました。2018年度を振り返りますと、関東学生陸上競技大会の男子2部やり投において、中浦が2年連続で優勝を達成し、荒川対校において女子対校チームが6年連続優勝を果たしました。また、福井県で行われた国民体育大会では女子円盤投で神山が7位入賞するなど、個人、ブロック問わず素晴らしい成績を収めることができました。

2019年度は部の新しい方針として「競技力向上、考える人になれ」を掲げました。一人一人が考えて陸上競技に取り組むことにより、これからの大会においてさらなる活躍を目指していく所存です。(文責：中里純也)

茨城大学陸上競技部に関するお問い合わせ

陸上競技部に関するご意見・ご質問は、ホームページ内の掲示板、もしくは、顧問の上地までよろしくお願いたします。
皆様からの情報をお待ちしております。

ホームページURL

<http://18.pro.tok2.com/~ibadaitandclub/>

顧問 上地 勝・渡邊 将司

〒310 - 8512 水戸市文京2-1-1

茨城大学教育学部

Tel: 029-228-8477 (研究室)

Fax: 029-228-8478 (体育事務室)

e-mail: mueji@mx.ibaraki.ac.jp

茨苑ACに関するお問い合わせ

〒310 - 0852 水戸市笠原町979-16

Tel: 029-244-1036

益子 雄行

茨城大学陸上競技部部誌「Perspiration」第13号

平成31年 3月23日発行

編集責任者

中里純也・中島佑介

発行者 茨城大学陸上競技部